

令和 4 年度

事業報告

公益社団法人日本歯科衛生士会



# 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 法人の概況

### 1 設立年月日

昭和26年10月27日（設立）

昭和41年5月23日（社団法人認可）

平成24年4月1日（公益社団法人移行）

### 2 定款に定める目的

本会は、都道府県歯科衛生士会との連携のもと、歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚並びに歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興を推進し、あわせて歯科衛生の普及啓発を図ることにより、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする。

### 3 定款に定める事業内容

- (1) 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚に関する事
- (2) 日本歯科衛生学会の開催等学術研究の振興に関する事
- (3) 歯科衛生の普及啓発に関する事
- (4) 歯科衛生業務の改善及び向上に関する事
- (5) 歯科衛生の国際協力に関する事
- (6) 都道府県歯科衛生士会等、関係団体との連携協力に関する事
- (7) その他本会の目的達成のために必要な事

### 4 行政庁に関する事項

内閣府大臣官房公益法人行政担当室

### 5 会員の状況

参考資料1に記載のとおり

### 6 事務所の所在地

東京都新宿区大久保二丁目11番19号

### 7 役員等に関する状況

参考資料2、参考資料3に記載のとおり

### 8 職員に関する事項

参考資料2に記載のとおり

## 事業

### I 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚ならびに学術研究の振興により、歯科衛生士の人材育成を図り、国民の健康と福祉に寄与する事業（公1）

#### 1 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚に関する事業

歯科医学・医療の進歩や歯科保健医療ニーズの変化にともなう知識・技能の習得及び医療安全等の最新情報に関する生涯研修事業の企画・運営・推進により、歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚を図るとともに、特定の専門分野において水準の高い歯科衛生士を育成し、認定することにより、歯科衛生業務の実践・指導力を高め、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

##### (1)生涯研修事業

###### ① 専門研修の企画・運営・推進

###### ア 基本研修

47 都道府県歯科衛生士会において、専門研修（基本研修）が 619 回開催され、20,701 名（会員 18,964 名、会員外 1,737 名）が受講した。

###### ・内訳

###### A 臨床研修コース

a 歯周治療の基本技術	107 回	3,673 名
b 摂食嚥下機能療法の基本技術	92 回	3,492 名

B リフレッシュコース（a～m, z）	226 回	7,143 名
---------------------	-------	---------

###### C 特定コース

a 歯科診療所等における医療安全管理対策	34 回	781 名
b 周術期等の口腔機能管理	28 回	1,122 名
c 在宅歯科医療の基礎	132 回	4,490 名

（参考資料 4）

#### 【第 25 回感染症予防歯科衛生士講習会の開催】

日本歯科医師会・日本歯科衛生士会共催

A 日程	オンライン研修（ライブ配信） 期 日 令和 4 年 7 月 3 日（日） 協 力 一般社団法人石川県歯科衛生士会 受講料 無料 事前登録者 222 名（内訳 会員 212 名、会員外 10 名） 修了者 206 名（内訳 会員 196 名、会員外 10 名）
B 日程	オンライン研修（録画配信） 期 日 令和 4 年 8 月 7 日（日） 協 力 一般社団法人宮城県歯科衛生士会 受講料 無料 事前登録者 188 名（内訳 会員 158 名、会員外 30 名） 修了者 183 名（内訳 会員 155 名、会員外 28 名） 傍聴者 6 名（内訳 歯科医師 2 名、歯科助手 3 名、受付 1 名）

研修内容 「新型コロナウイルスの来し方行く末」 自治医科大学附属病院・感染制御部長、准教授 感染症科（兼任）科長、総合診療内科（兼任）副科長 中央手術部・中央材料室（兼任）室長補佐 病院長補佐、患者サポートセンター長（兼任）	森澤 雄司
「歯科における院内の感染予防と感染管理」 大阪大学歯学部附属病院 口腔総合診療部 副部長・准教授	野崎 剛徳
「歯科診療所における医療安全管理 ーできることから始める院内感染予防 医療安全とチームの視点からー」 赤坂見附磯谷歯科室	院長 磯谷 一宏

#### イ 特別研修

- ・第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会「第 14 回歯科衛生士研究会」の開催

期 日	令和 4 年 11 月 5 日（土）
会 場	幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）
主 催	公益社団法人日本口腔外科学会
共 催	公益社団法人日本歯科衛生士会
受 講 料	当日現地払いのみ 3,000 円
参加者数	参加者数 38 名（会員 30 名 会員外 8 名）
実施内容	会員発表 5 題 カンファレンス（事例検討） 「コロナ禍で増加するフレイル患者への危険回避を考えよう」 ～フィジカルアセスメントを活用したリスク管理～ 講演：「今こそフィジカルアセスメント ～リスク管理に役立てよう～」 病院委員会 池上由美子委員

上記の他、本会が主催・共催する特別研修には「日本歯科衛生学会学術大会」への参加、発表及び「日本歯科衛生学会雑誌」への論文投稿等による学習を対象としている。第 17 回学術大会の参加登録者、発表者、学会雑誌（Vol. 17 No1、No2）論文投稿者の合計は、1,271 名であった。

- ・その他特別研修の指定

その他特別研修として、関連学会、関係団体等の申請に基づき 6 項目を指定した。  
 その他特別研修による自己申請者 285 名（参考資料 6）

#### ウ 指定研修

指定研修課程の修了者による自己申請者	6 名
（内訳） 4 年制大学課程卒業	4 名
大学院（修士・博士）課程修了	1 名
専攻科及び病院等の臨床研修課程修了	1 名

エ 専門研修修了者数（令和4年12月31日現在）

- ・基本研修 683名
  - ・特別研修 113名
  - ・指定研修 6名
- 合計 802名

（参考資料5）

② 認定研修（認定歯科衛生士セミナー）

【日本歯科衛生士会主催】

認定研修（認定歯科衛生士セミナー）の実施

ア 生活習慣病予防（特定保健指導－食生活改善指導担当者研修）

主 催 日本歯科衛生士会	
開催期日	
オンデマンド配信	令和4年9月3日（土）～10月15日（土）
ライブ配信	令和4年10月1日（土）
認定テスト	令和4年10月16日（日）
受講者 58名、修了者 56名	
令和3年度受講者で、今年度認定テストを受験し、修了2名	
研修内容	
オンデマンド配信	
「健康づくり施策概論」	
健康なまちづくり支援ネットワーク	岩永 俊博
「栄養指導」	
株式会社リカバリータイムズ 管理栄養士	今井 愛
「健康教育」	
十文字学園女子大学人間生活学部人間福祉学科 教授	吉田 亨
ライオン株式会社人材開発センター健康サポート室 保健師	川本 和江
鶴見大学歯学部 名誉教授	花田 信弘
岡山済生会総合病院 看護外来室 慢性疾患看護専門看護師	佐藤真理子
「生活指導およびメンタルヘルスケア」	
国際医療福祉大学医学部教授・山王病院心療内科部長	村上 正人
国際医療福祉大学医学部教授・成田病院心療内科	中尾 睦宏
「生活指導およびメンタルヘルスケア」	
横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長	山本 晴義
「運動の基礎科学」	
立命館大学スポーツ健康科学部 教授	村上 晴香
ライブ配信	
「研究討議 メタボリックシンドローム関連」	
神奈川県立保健福祉大学 人間総合科・保健福祉学研究科 准教授	城川 美佳

イ 摂食嚥下リハビリテーション

主 催 日本歯科衛生士会	
開催期日	
オンデマンド配信	令和4年7月16日（土）～9月10日（土）
ライブ配信	令和4年9月4日（日）
認定テスト	令和4年9月11日（日）
受講者 40名、修了者 40名	

研修内容		
オンデマンド配信		
「リハビリテーション総論」		
足利赤十字病院リハビリテーション科 部長		馬場 尊
「リスクマネージメント・全身管理」		
東京医科歯科大学 名誉教授		深山 治久
「栄養管理」		
行徳総合病院リハビリテーション科		御子神由紀子
「摂食嚥下機能のメカニズム」		
東京歯科大学解剖学講座		山本 将仁
「病態別摂食嚥下障害（小児の摂食嚥下障害）」		
昭和大学 名誉教授		向井 美恵
「咬合および咀嚼機能の評価と管理」		
昭和大学歯学部高齢者歯科学講座 准教授		古屋 純一
「摂食嚥下の評価」		
医療法人徳洲会館山病院 口腔機能リハビリテーションセンター長		高橋 浩二
「病態別摂食嚥下障害（中途障害の摂食嚥下障害）」		
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長		菊谷 武
国立国際医療センター リハビリテーション科 医長		藤谷 順子
「摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解」		
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長		菊谷 武
「食事外部観察評価」		
日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科		高橋 賢晃
「リスクマネージメント・呼吸管理と肺理学」		
藤田医科大学ばんだね病院 看護部長室 看護課長		
摂食嚥下障害認定看護師		三鬼 達人
「摂食嚥下訓練」		
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック		水上 美樹
〃		田中 祐子
昭和大学歯科病院 歯科衛生室		柴田 由美
〃		木村 有子
「問題解決力の実践」		
宮城高等歯科衛生士学院 教務主任		佐藤 陽子
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック		水上 美樹
〃		田中 祐子
ライブ配信		
「リスクマネージメント・経鼻吸引」		
藤田医科大学ばんだね病院 看護部長室 看護課長		
摂食嚥下障害認定看護師		三鬼 達人
「摂食嚥下訓練」		
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック		水上 美樹
〃		田中 祐子
昭和大学歯科病院 歯科衛生室		柴田 由美
〃		木村 有子

ウ 在宅療養指導・口腔機能管理

主 催	日本歯科衛生士会
開催期日	
オンデマンド配信	令和 4 年 9 月 3 日（土）～10 月 15 日（土）
ライブ配信	令和 4 年 10 月 9 日（日）、10 日（祝）
認定テスト	令和 4 年 10 月 16 日（日）
受講者	48 名、修了者 48 名

研修内容		
オンデマンド配信		
「医療と介護の連携」	厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐	高田 淳子
「在宅医療の現状」	医療法人おひさま会 おひさまクリニック湘南 院長	柳田 毅
「在宅医療に関わる全身疾患と口腔機能」	昭和大学歯学部高齢者歯科学講座 准教授	古屋 純一
「多職種連携について」	佛教大学保健医療技術学部看護学科 在宅看護学 准教授	清水奈穂美
	株式会社ウィズ 大阪西営業所 居宅介護支援事業所 管理者	松下 敬子
「口腔機能管理の実際」	医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック歯科診療部	若杉 葉子
「栄養管理・栄養支援」	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック管理栄養士	尾関麻衣子
「終末期への対応」	医療法人永寿会 陵北病院 副院長	阪口 英夫
「在宅医療に関わる医療機器の取り扱い」	すこやか在宅クリニック 看護師	廣井 覚美
ライブ配信		
「口腔機能管理の実践例の紹介」		
	なにわ歯科衛生専門学校	金子 信子
	昭和大学歯科病院	小田 奈央
	三ノ輪口腔ケアセンター	清水けふ子
「在宅支援と歯科衛生士の介入」	医療法人永寿会 陵北病院 副院長	阪口 英夫
	ヒューマンデンタルクリニック 院長	飯田 良平

## エ 糖尿病予防指導

主 催	日本歯科衛生士会	
協力教育機関	徳島大学歯学部	
開 催 期 日		
オンデマンド配信	令和 4 年 10 月 17 日(月)～11 月 19 日(土)	
ライブ配信	令和 4 年 10 月 16 日(日)、11 月 13 日(日)	
認定テスト	令和 4 年 11 月 20 日(日)	
受 講 者	54 名、修 了 者 52 名	
研修内容		
オンデマンド配信		
「ペリオドンタル・メディスン」	徳島大学大学院 口腔保健支援学 教授	尾崎 和美
「糖尿病の基礎知識、糖尿病臨床の実際」	にしだわたる糖尿病内科 院長	西田 亙
「国民健康の疫学」		
「歯科衛生士による保健指導」	徳島大学大学院 口腔機能管理学分野 教授	松山 美和
「糖尿病と歯周病の関連性」	徳島大学大学院 歯周歯内治療学 教授	湯本 浩通



「学校保健と糖尿病予防」 徳島大学大学院 口腔保健衛生学 教授	日野出大輔
「地域歯科医療における糖尿病予防」 徳島県歯科医師会 常務理事	下村 学
「糖尿病予防の指導と管理」 徳島市民病院 栄養管理室 徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 徳島県歯科衛生士会 歯科衛生士	松村 晃子 出口 憲一 山口由美子
「糖尿病予防の指導と管理」 川島病院看護部 看護師 国立循環器病研究センター健診部 非常勤研究員	小倉加代子 前田さおり
「糖尿病療養管理の視点を予防に役立てる」 川島病院栄養管理室 管理栄養士 川島病院看護部 看護師	松浦 香織 戸田 己記
ライブ配信 「アイズブレイク」 徳島大学大学院 口腔保健教育学 教授	伊賀 弘起
「糖尿病とその予防で学習したいこと」 「成人歯科健康診査 生活歯援プログラム」 「シナリオに対する口腔保健指導プラン作成」 徳島大学大学院 口腔機能管理学分野 教授	松山 美和
「教育講演 糖尿病患者の歯周治療に携る歯科医療従事者が知っておくべき基礎知識」 九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学分野 教授	西村 英紀

オ 医科歯科連携・口腔機能管理

主 催 日本歯科衛生士会	
委託教育機関 東京歯科大学	
開催期日	
前期 オンデマンド配信 令和4年7月2日(土)～7月24日(日)	
ライブ配信 令和4年7月31日(日)	
後期	
令和4年8月1日(月)、8日(月)、22日(月)、29日(月)	
東京歯科大学市川総合病院で見学・実習 1日間	
4回にわけ、各班6名ずつ実施	
認定テスト 後期日程	
受講者 20名 修了者 20名	
研修内容	
前期	
オンデマンド配信	
「がん患者の周術期管理～外科の立場から～」 東京歯科大学 副学長 東京歯科大学市川総合病院 外科学講座 主任教授	松井 淳一
「病院における口腔機能管理に必要な基本的知識」 東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学講座 教授	松浦 信幸
「脳卒中患者の口腔機能管理」 東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科 教授	片山 正輝
「周術期口腔機能管理の制度(保険点数)」 東京歯科大学短期大学 学長	鳥山 佳則
「緩和ケア～認定看護師から」 東京歯科大学市川総合病院 看護部 緩和ケア認定看護師	並木瑠理江

「化学療法と有害事象～薬剤師の立場から」 東京歯科大学市川総合病院 臨床薬学科・薬剤部 教授	門田 佳子
「放射線療法と有害事象 ～医学物理士（放射線技師）の立場から」 東京歯科大学市川総合病院 放射線科 講師	福田 一郎
「臨床研究の進め方」 東京歯科大学短期大学歯科衛生学科 教授	安松 啓子
ライブ配信 「グループワーク（症例検討）」 東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学講座 教授	松浦 信幸
東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学講座 助教	吉田 佳史
「周術期口腔機能管理～歯科衛生士の立場～」 東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科 教授	菅野 亜紀
東京歯科大学市川総合病院コ・デンタル部 主任歯科衛生士	大屋 朋子
後期 「口腔がんセンターでの周術期口腔機能管理見学」 「口腔がんセンターでの周術期口腔機能管理見学」 「栄養サポートチーム（NST）回診見学」 「病棟での口腔管理見学」 東京歯科大学市川総合病院 コ・デンタル部	歯科衛生士
「シミュレータを用いた吸引実習」 「シミュレータを用いた呼吸音聴診実習」 「シミュレータを用いた挿管患者における口腔衛生管理」 東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科 教授	菅野 亜紀
東京歯科大学市川総合病院 コ・デンタル部 主任歯科衛生士	大屋 朋子

#### カ 歯科医療安全管理

主 催	日本歯科衛生士会
委託教育機関	広島大学歯学部
開催期日	
オンデマンド配信	令和4年7月30日（土）～9月4日（日）
ライブ配信	令和4年8月27日（土）、28日（日）
認定テスト	令和4年8月28日（日）
受講者	36名、修了者 35名
研修内容	
オンデマンド配信 「感染予防対策総論」 広島大学大学院医系科学研究科 客員教授 下松デンタルアカデミー専門学校 学校長	栗原 英見
「歯科医療における標準予防策の具体的方法」 「歯科医療の環境整備・医療廃棄物の取扱い」 「歯科衛生士のリスクマネジメントプロセス」 「口腔外科手術時の医療安全対策」 広島大学大学院医系科学研究科口腔健康科学科研究室 教授	太田 耕司
「歯科医療器具の洗浄、消毒、滅菌の総論」 広島大学大学院医系科学研究科口腔保健管理学 助教	仁井谷善恵
「病院、歯科診療所での感染予防対策の実際」 広島大学病院診療支援部管理室/歯科部門 副診療支援部長	中岡美由紀
「院内感染対策で重要な微生物」 広島大学大学院医系科学研究科 細菌学 研究室 教授	小松澤 均
「COVID-19の基礎知識と感染予防対策について」 広島大学病院歯系総合診療科 感染症科 教授	大毛 宏喜

「標準感染予防策の実践」	広島大学病院診療支援部管理室/歯科部門 副診療支援部長	中岡美由紀
「医療安全対策総論」		
「レジリエンス・エンジニアリングと医療安全」	広島大学病院歯系総合診療科 口腔総合診療科 教授	河口 浩之
「歯科衛生士が起こしやすいインシデントの対応予防策」		
「医薬品、医療機器の安全管理方法」	広島大学大学院医系科学研究科 歯周病態学 講座 教授	水野 智仁
「周術期口腔ケア、訪問診療の医療安全対策」	広島大学病院歯系総合診療科 口腔総合診療科 診療講師	西 裕美
「医療情報、個人情報管理と実際」	県立広島病院 歯科・口腔外科 部長	神田 拓
「歯科で起こりやすい患者急変時の対応と予防策」	広島大学大学院医系科学研究科 歯科麻酔学 研究室 助教	清水 慶隆
ライブ配信		
オンラインワークショップ		
「臨床現場における医療安全（感染含）対策」		
「感染防止対策」		
「事例から学ぶ医療安全対策」		
	広島大学大学院医系科学研究科口腔健康科学科研究室 教授	太田 耕司
	広島大学病院歯系総合診療科 口腔総合診療科 教授	河口 浩之
	広島大学大学院医系科学研究科 歯周病態学 講座 教授	水野 智仁
	広島大学大学院医系科学研究科口腔保健管理学的研究室 講師	松本 厚枝
	広島大学大学院医系科学研究科口腔保健管理学的 助教	仁井谷善恵

③ 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業

厚生労働省補助・日本歯科衛生士会主催

ア「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」オンライン方式での実施

開催回	開催日	実施本部	受講者数
第1回	令和4年10月29日(土)30日(日)	日本歯科衛生士会	22名
第2回	令和4年11月26日(土)27日(日)	日本歯科衛生士会	21名
第3回	令和4年12月10日(土)11日(日)	日本歯科衛生士会	23名
第4回	令和5年1月28日(土)29日(日)	日本歯科衛生士会	23名

プログラム

事前研修

- ・ショートエッセイ
- ・動画視聴
  - ①カリキュラムプランニング（カリキュラムとは、目標編・方略編・評価編）
  - ②雇用形態等の労働法規の仕組みについて
  - ③組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方

講習会内容

[1日目]

S-I	講習会の進め方・WSとは
S-II	歯科保健医療の動向と歯科衛生士を取り巻く環境の変化
S-III	歯科衛生士の復職支援・離職防止等の推進に関する共通ガイドラインの理解 (アイスブレイクを兼ねてクイズ形式で実施)
S-IV	歯科衛生士の就業先(診療所)での問題点の抽出
S-V	研修カリキュラムのプランニング (①研修目標 ②研修方略 ③研修評価 事前研修復習含む改善検討)

[2日目]

S-V	雇用形態等の労働法規の仕組み
S-VI	歯科医療従事者のスタッフトラブルを考える
S-VII	組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方
S-VIII	問題解決・問題点への対応「研修指導者・臨床実地指導者の役割」
S-IX	地域で役立てるために
S-X	本講習会を振り返って、まとめ、質疑応答

タスクフォース・講師等

(タスクフォース)

東京医科歯科大学名誉教授／日本歯科大学生命歯学部客員教授	俣木 志朗
日本大学松戸歯学部 歯科矯正学特任教授	葛西 一貴
東京歯科大学 社会歯科学講座教授	平田創一郎
東京医科歯科大学 統合教育機構准教授	
東京医科歯科大学大学院歯学教育システム評価学分野分野長	鶴田 潤
日本歯科衛生士会企画運営委員	
神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科	上原 弘美
東京医科歯科大学病院歯科衛生士総合研修センター	岡田 昌子
日本歯科大学東京短期大学	小森 朋栄
大阪歯科大学歯科衛生士研修センター	高田橋美幸
広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫学	西村 瑠美
梅花女子大学看護学部口腔保健学科	大川 直美
愛知学院大学短期大学部	
愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター	高阪 利美
徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健支援学分野	藤原奈津美
神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科	宮澤 絢子

(講師)

厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐	高田 敦子
日本歯科大学附属病院 准教授	大澤 銀子
産業能率大学 経営学部教授	宮内ミナミ
フェニックス社労士事務所 所長	峯岸 陽子

イ「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修等事業」運営協議会の開催

委員長 須田 英明 (東京医科歯科大学名誉教授、東京医歯薬専門学校 学校長  
日本医歯薬専門学校 学校長)

委員 俣木 志朗 (東京医科歯科大学 名誉教授  
日本歯科大学生命学部 客員教授)

小佐野みゆき (日本歯科医師会 理事)

山本 一世 (大阪歯科大学歯科衛生士研修センター センター長  
大阪歯科大学歯学部 主任教授)

内藤真理子 (広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター 副センター長  
広島大学歯学部口腔健康科学科口腔保健学 学科長)

稲垣 幸司 (愛知学院大学短期大学部 教授  
愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター所長)

高阪 利美 (愛知学院大学短期大学部 特任教授  
愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター副所長)

オブザーバー委員

品田佳世子 (東京医科歯科大学歯病院科衛生士総合研修センター センター長  
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 教授)

オブザーバー

高田 敦子 (厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐)

池田 裕一 (厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐)

大坪 真実 (厚生労働省医政局歯科保健課 主査)

大沼 由季 (厚生労働省医政局歯科保健課)

開催日 ・第1回開催日時：令和4年10月14日(金)

・第2回開催日時：令和5年3月17日(金)

④ 認定歯科衛生士の認定・登録・更新

ア 特定する認定分野

認定分野A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）
	摂食嚥下リハビリテーション
	在宅療養指導・口腔機能管理
	糖尿病予防指導
	医科歯科連携・口腔機能管理
	歯科医療安全管理
認定分野B （専門学会との連携 による認定）	障害者歯科（専門審査機関：日本障害者歯科学会）
	老年歯科（専門審査機関：日本老年歯科医学会）
	地域歯科保健（専門審査機関：日本口腔衛生学会）
	口腔保健管理（専門審査機関：日本口腔衛生学会）
	う蝕予防管理（専門審査機関：日本歯科保存学会）
認定分野C	研修指導者・臨床実地指導者

イ 認定審査

認定歯科衛生士審査会（2回開催）

令和4年12月4日（認定分野B）障害者歯科

令和5年2月4日（認定分野A）生活習慣病予防、摂食嚥下リハビリテーション、在宅療養指導・口腔機能管理、糖尿病予防指導、医科歯科連携・口腔機能管理、歯科医療安全管理

（認定分野B）老年歯科、地域歯科保健、口腔保健管理、う蝕予防管理

ウ 認定登録、認定証交付

認定分野		認定登録者	備考
認定分野A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）	56名	
	摂食嚥下リハビリテーション	37名	
	在宅療養指導・口腔機能管理	46名	
	糖尿病予防指導	52名	
	医科歯科連携・口腔機能管理	20名	
	歯科医療安全管理	36名	
認定分野B	障害者歯科	22名	
	老年歯科	8名	
	地域歯科保健	1名	
	口腔保健管理	1名	
	う蝕予防管理	53名	
認定分野C	研修指導者・臨床実地指導者	34名	

（参考資料7）

エ 認定更新、認定証交付

認定分野		認定更新者数	備考
認定分野A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）	23名	
	摂食嚥下リハビリテーション	46名	

認 定 分 野		認定更新者数	備 考
認定分野 A	在宅療養指導・口腔機能管理	112 名	
	糖尿病予防指導	27 名	
	医科歯科連携・口腔機能管理	29 名	
認定分野 B	障害者歯科	54 名	
	老年歯科	17 名	
	地域歯科保健	6 名	
	口腔保健管理	5 名	

(参考資料 7)

⑤ その他生涯研修に関すること

(2) 地域歯科衛生活動の指導者育成

保健医療福祉の動向にともなう歯科保健医療ニーズの変化に対応し、効果的な歯科衛生活動を実践するため、歯科衛生推進フォーラムを開催し、地域歯科衛生活動における指導者等の育成を図った。併せて、毎年度、都道府県会における歯科保健活動の実施状況を調べ、活動状況に関する情報共有を図るとともに、歯科衛生推進に関する調査及びマニュアル作成等により活動内容の向上を図り、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

① 歯科衛生推進フォーラムの開催

開 催 日	令和 5 年 2 月 12 日 (日)
開 催 方 法	ライブ配信
参 加 費	無料
参 加 者	157 名 (内訳 都道府県歯科衛生士会 92 名、自由参加者 32 名、関係者 30 名、報道 3 名)
実施内容	<p>講演「歯科保健医療の動向」 厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐 大坪 真実</p> <p>発表「地域歯科衛生活動」事業での取り組み</p> <p>① 保育園・幼稚園の保護者に対する歯科保健アンケート調査事業及び 保育園児・幼稚園児の歯科保健に関する普及啓発事業 青森県歯科衛生士会 監事 浅木美智子</p> <p>② 令和 4 年度 子どもの食べる力を育む口腔機能向上普及啓発事業 岩手県歯科衛生士会 理事 富手由歌里</p> <p>③ お口の健康で命を守る非常時にいかす「わたしの健口手帳」の作成 兵庫県歯科衛生士会 地域保健企画理事 森田 好美</p> <p>④ 新人歯科衛生士の離職防止・復職支援事業の取り組みについて 徳島県歯科衛生士会 会長 河野美枝子</p>

② 令和3年度地域歯科保健活動状況調査

全国47都道府県歯科衛生士会における令和3年度の地域歯科保健活動実施状況は、乳幼児、学童、成人、高齢者、要介護者、障害者等に対し9項目の事業を実施し、実施回数45,420回、歯科衛生士従者数(延)82,897人、地域住民参加者数(延)1,303,042人であった。本報告書は、都道府県歯科衛生士会及び関係者に配布し、ホームページに掲載した。

③ 医科歯科連携によるチーム医療の推進に関すること

- ・全国病院歯科衛生士連絡協議会の開催

医科歯科連携のチーム医療は、歯科医師・歯科衛生士による口腔健康管理が患者の低栄養や肺炎予防を通して在院日数を減少させ、患者のQOLの向上等に寄与することが明らかになってきている。そこで、本協議会では、病院・診療所に勤務する歯科衛生士が、チーム医療における知識・技能の習得及び最新の情報の共有化を図り、医科歯科連携のチーム医療に的確に対応することを目的として開催した。

開催日	令和5年1月28日(土)
開催方法	ライブ配信
参加費	無料
参加者	52名 (内訳 都道府県歯科衛生士会43名、関係者9名)
実施内容	<p>講演 「歯科衛生士の『キャリア』を考える ～歯科衛生士の実践能力向上・キャリアアップ形成に必要な一定の指標とは～」 「クリニカルリーダーとは ～多職種との比較(目的・背景)～」 病院委員会委員 大屋 朋子・石井 美和</p> <p>ワークショップ テーマ:「歯科衛生士のクリニカルリーダーを考えよう」 ー歯科衛生士の実践能力評価のためにー</p>

④ 歯科衛生推進に関する調査及びマニュアル作成等

- ・「施設における口腔健康管理推進マニュアル」発行、ホームページに掲載
- ・リーフレット「歯ぐきの健康を保つ セルフケアとプロケア」の発行、配布

⑤ その他歯科衛生の推進及び指導者育成に関すること

(3) 歯科衛生に関する国際協力

国際歯科衛生士連盟(IFDH: International Federation of Dental Hygienists)との連携協力により世界の歯科衛生士との交流を図り、海外の歯科衛生に関する調査研究及び最新情報を紹介するなど、歯科衛生士の国際協力を推進し、人材育成を支援した。

① 国際歯科衛生士連盟(IFDH)との連携協力

② 第22回歯科衛生国際シンポジウム開催

日本は新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、参加を見送り

開催期日	令和4年8月11日(木)～13日(土)
開催地	アイルランド ダブリン

③2022 HoD 会議への代表者派遣

日本は新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、派遣を見送り  
 カントリーレポートを提出

開催期日	令和4年8月8日(月)～10日(水)
開催地	アイルランド ダブリン

④海外歯科衛生士の学術研究・関連情報の提供

⑤その他歯科衛生の国際協力に関すること

(4)その他歯科衛生士の資質向上及び倫理の高揚に関すること

2 歯科衛生の学術研究の振興に関する事業

歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興を図るため、学術大会を開催し、学会雑誌を発行することにより、科学的根拠に基づく質の高い歯科衛生業務の実践を支援し、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

(1)日本歯科衛生学会 第17回学術大会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、Web開催とした。

日 程	令和4年9月18日(日)～10月31日(月)
開催形式	Web開催(オンデマンド配信、研究討論会のみライブ配信)
メインテーマ	ポストコロナ時代の口腔健康管理ー口腔から支える健康長寿ー
主催	日本歯科衛生学会、公益社団法人日本歯科衛生士会
共催	一般社団法人徳島県歯科衛生士会
後援	徳島県、徳島市 一般社団法人徳島県歯科医師会、一般社団法人徳島市歯科医師会
参加者数	総数 1,217名 (内訳) 学会員 1,108名 会員外 32名 学生会員 43名 学生 1名 企業関係 14名 講師・招待者等 17名 報道関係 2名
商業展示	11社(リンクバナー展示)
企業協賛セミナー	3社
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別講演 ポストコロナ時代の口腔健康管理ー口腔感染症と全身疾患の関連性ー 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 歯周歯内治療学分野 教授 湯本 浩通</li> <li>・教育講演1 なぜ、今、口腔がん検診かー口腔がん・口腔粘膜疾患の診かた・見つけ方ー 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 口腔外科学分野 教授 宮本 洋二</li> <li>・教育講演2 これだけは知っておきたい研究倫理 東京歯科大学短期大学 学長 鳥山 佳則</li> <li>・シンポジウム「ポストコロナ時代の口腔健康管理ー糖尿病改善へのアプローチー」 基調講演 知と実践のプロフェッショナルを目指して 加茂健やかクリニック 院長 吉本 勝彦</li> </ul>



講演 1	歯科医師の立場から 徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔機能管理学分野	教授	松山 美和
講演 2	管理栄養士の立場から 公益社団法人徳島県栄養士会	会長	松村 晃子
講演 3	歯科衛生士の立場から 社会医療法人川島会 川島病院 歯科・歯科口腔外科		高石 和子
・	日本口腔衛生学会共同企画 歯科衛生研究の進め方 東京医科歯科大学大学院 口腔疾患予防学分野	教授	品田佳世子
・	日本歯科保存学会共同企画 う蝕予防管理－歯科衛生士として生涯にわたるアプローチのこれから－ 徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔保健支援学分野	教授	尾崎 和美
・	県民フォーラム 健康寿命を延ばす運動 徳島大学 人と地域共創センター	教授	田中 俊夫
・	研究討論会 歯科衛生研究を一步先へ進める－研究遂行のためのコツと工夫－ 日本歯科衛生学会編集委員会		松田 悠平、伊藤 奏
・	会員発表 口演発表 20 題、ポスター発表 92 題		

(2) 日本歯科衛生学会雑誌の発行

Vol. 17 No. 1 令和 4 年 8 月 10 日発行 22,000 部

Vol. 17 No. 2 令和 5 年 2 月 10 日発行 22,200 部

主な配布先

会員、文部科学省、厚生労働省、国会図書館、歯科大学図書館、歯科衛生士学校養成所、関連学会、関係団体等

医学中央雑誌掲載誌に登録し、データベースに収録

(3) 学会運営会議等

- ① 学会運営協議会 (令和 4 年 9 月 25 日)
- ② 学会幹事会 (令和 4 年 5 月 9 日、9 月 25 日、11 月 8 日、12 月 2 日、令和 5 年 2 月 14 日)
- ③ 学術プログラム委員会 (令和 4 年 11 月 9 日)
- ④ 学術表彰選考委員会 (令和 4 年 5 月 17 日)
- ⑤ 学会委員会 (企画委員会) (令和 4 年 10 月 7 日)  
(編集委員会) (令和 4 年 5 月 25 日)  
(総務委員会) (令和 4 年 5 月 3 日、5 月 5 日、5 月 16 日、9 月 29 日)
- ⑥ 倫理審査委員会 (令和 5 年 3 月 9 日)

(4) 学術表彰

学術発表賞 (口演発表賞 1 名、ポスター発表賞 1 名、学生研究賞 1 名)

学術論文賞 (最優秀賞 1 名、優秀賞 1 名、奨励賞 1 名)

(5) 研究助成

国民の歯科口腔保健の推進に寄与し、歯科衛生業務の発展、向上の一助とすることを目的に、研究助成を行った。

- ・ 歯科衛生臨床研究助成 1 名 (株式会社 YDM の協賛)

(6) その他学会の目的達成に必要なこと

専門分野別研究に関すること

- ・ 専門歯科衛生士制度検討小委員会、専門歯科衛生士制度検討プロジェクトの開催

## II 歯科衛生の普及啓発により、国民の健康と福祉の増進に寄与する事業（公2）

### 1 歯科衛生の普及啓発及び広報に関する事業

(1) 歯科衛生だより（一般向け）の発行、配布（偶数月、年6回）

68号	令和4年4月1日発行、配布	発行部数	25,600部
69号	令和4年6月1日発行、配布	発行部数	25,500部
70号	令和4年8月1日発行、配布	発行部数	27,900部
71号	令和4年10月1日発行、配布	発行部数	27,700部
72号	令和4年12月1日発行、配布	発行部数	27,900部
73号	令和5年2月1日発行、配布	発行部数	27,900部

主な配布先

会員のほか都道府県、市区町村、全国図書館、社会福祉団体、歯科衛生士学校養成所、歯科大学、都道府県歯科衛生士会、関係団体等

(2) 学生だよりの発行、配布

51号	令和4年7月15日発行、配布	発行部数	21,700部
52号	令和5年1月15日発行、配布	発行部数	21,900部

主な配布先

歯科衛生士学校養成所の学生及び関係団体等

(3) 歯科衛生普及啓発用冊子等の発行、配布

(4) Webサイトによる歯科衛生情報等の配信

① 歯とお口の健康情報等

- 4月 「新型コロナウイルス感染症とEtak（イータック）のお話」  
「保護者と子どもの歯みがきタイムを大切に 仕上げみがきのポイント」
- 6月 「高齢者の食事と栄養 ～「食べる口」と「しゃべる口」～」  
「話す・食べる・呼吸をする・・・上手にできていますか??？」
- 7月 「新型タバコの本当のリスク」  
「食べているのに低栄養になるの?」
- 10月 「よい咀嚼」から始まるヘルスプロモーション」  
「あなたと家族を守る！非常時の「お口のケア」」
- 12月 「ポストコロナ時代の口腔健康管理」  
「口腔カンジダ症(カンジダ口内炎)をご存じですか?」
- 2月 「ぐっすり眠れていますか？ 睡眠中のいびき・無呼吸とマウスピース治療」  
「認知症の予防には歯周病予防対策を！」

② Instagramアカウントの開設

### Ⅲ 地域の歯科衛生活動を支援することにより、国民の健康と福祉の増進に寄与する事業（公3）

#### (1) 地域歯科衛生活動への助成

地域における歯科口腔保健を推進するため、都道府県歯科衛生士会等が実施する地域歯科衛生活動を助成し、支援した。

本会の「地域歯科衛生活動」事業助成交付要綱に基づき、「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会において審査を行い、申請のあった10団体（北海道歯科衛生士会、岩手県歯科衛生士会、山形県歯科衛生士会、新潟県歯科衛生士会、和歌山県歯科衛生士会、島根県歯科衛生士会、愛媛県歯科衛生士会、佐賀県歯科衛生士会、大分県歯科衛生士会、特定非営利活動法人アダプテッドスポーツサポートセンター）における各種・地域歯科衛生活動を助成した。

実施は、活動内容 10 項目、実施日数 169 日、実施人数 2,029 人、実施施設（会場）47 か所、活動に参加した歯科衛生士(延)234 人、歯科医師(延)11 人、その他の職種（延）52 人であった。活動の実施状況は、順次「歯科衛生だより」に掲載し、紹介した。

(参考資料8)

#### (2) 災害歯科保健歯科衛生士の育成

都道府県歯科衛生士会において、災害時の歯科保健活動が迅速かつ円滑に行えるよう、種別ごとの役割に応じた歯科衛生士を育成するとともに、登録により「災害歯科保健歯科衛生士」の確保を図った。

##### ア 「災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」の開催

災害歯科保健コーディネーター研修及び 都道府県歯科衛生士会災害歯科保健業務調整(ロジスティクス)歯科衛生士研修	
開催形式	オンデマンド配信 令和4年11月21日(月)～12月3日(土)
開催期日	ブロック別集合型 令和4年12月4日(日)
参加者	オンデマンド配信 受講者数157名(理事、担当役員、委員含む) ブロック別集合型 121名(内訳：ロジスティクス41名、 コーディネーター80名) 担当役員及び委員 18名
プログラム	オンデマンド配信 「一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)概要」 一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院理事長 栗原 正紀  「JDAT(日本災害歯科支援チーム)の概要、研修体制と日本歯科衛生士会との連携について」 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学分野 中久木康一 「先駆的な災害支援の取組み事例紹介」 福島県歯科衛生士会相双支部長 山本ひろみ 長野県歯科衛生士会 副会長 吉川由紀子 三重県歯科衛生士会 副会長 久保田加寿美 高知県歯科衛生士会 理事 浜田 結
ブロック別集合型 情報提供	「災害歯科保健活動歯科衛生士実践マニュアル2022年度版」の概要 グループワーク テーマ 「大規模災害時のブロック内の連携及び協力体制について」

##### イ 災害歯科保健歯科衛生士（地域活動担当者）の育成

開催期日	令和4年9月1日(木)～30日(金)
開催方法	eラーニングの受講・登録 eラーニング内容 「災害と支援の枠組み」 「災害時の地域保健」 「災害時の被災者の心理」 国立保健医療科学院健康危機管理研究部（併任）生涯健康研究部 公衆衛生看護研究領域 上席主任研究官 奥田 博子 「災害時の歯科の役割と変遷／災害支援における歯科衛生士の役割」 「災害時の歯科口腔アセスメントの体系化／実際（地域）」 「災害時の歯科口腔アセスメントの実際（個人）」 「被災者の心情に配慮した歯科保健活動」 「災害歯科保健活動における「食べる」支援」 東京医科歯科大学 救急災害医学分野 非常勤講師 中久木康一 「災害時の歯科衛生士の活動の実際」 「災害歯科保健活動における多職種との連携」 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 久保山裕子
参加者	都道府県歯科衛生士会推薦者（参加費無料）
登録者	335名

(3) 災害時歯科保健ネットワークシステムへの連携・参画等

日本歯科医師会「日本災害歯科保健医療連絡協議会」への参画、他

#### IV その他事業

##### 1 都道府県歯科衛生士会及び地区との連携、及び会員管理等に関する事業（他1）

###### (1) 都道府県歯科衛生士会会長会の開催

日時 令和5年2月11日（土）

開催方法 ライブ配信

出席者 都道府県歯科衛生士会長 47名  
傍聴者 1名  
関係者（役員） 22名

###### 協議事項

- 1 令和5年度事業計画（案）の概要について
- 2 令和5年度の生涯研修・認定研修について
- 3 都道府県歯科衛生士会への研修支援について
- 4 令和5年度「ブロック連絡協議会」および「ブロック研修」実施要領について
- 5 歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修等事業について

###### 報告事項

- 1 令和3年度「地域歯科保健活動実施状況調査報告」
- 2 会員拡大・組織強化の取り組みについて
- 3 その他

###### 分科会

規模別分科会 「歯科診療所に勤務する未入会歯科衛生士への取り組み」  
ブロック別分科会 「規模別分科会」での気づきの共有

(2)ブロック連絡協議会開催助成（ブロック研修含む）

ブロック	開催日時	開催場所・参加人数	内 容	派遣役員
北海道・東北 (秋田県)	連絡協議会 R4. 10. 16（日） 10：00～12：00	Web開催  18名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歯科衛生士会情報提供</li> <li>・各道県会の総会資料</li> <li>・各道県会の近況報告</li> </ul> 情報交換 ①Web研修後のオンデマンド配信の実施等について ②ブロック連絡強化費の経費対象基準について ③Zoom研修会における出席確認の方法について ④情報発信・案内のためのSNSの活用について ⑤受託事業の従事者の高齢化と新たな人材の確保について ⑥会員拡大と退会者を減らすための対策について ⑦税務や登記、増え続ける事務作業について <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度・令和6年度北海道・東北ブロック理事推薦について</li> <li>・令和5年度北海道・東北ブロック連絡協議会担当県について</li> </ul>	会長 吉田 直美  副会長 茂木 美保  理事 前沢 葉子
	ブロック研修 R4. 10. 16（日） 13：00～15：00	Web開催  48名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「歯科衛生士の強みの戦略～伝え方の工夫セミナー～」</li> </ul> 有限会社繁盛店研究所 代表取締役社長 ハワード・ジョイマン  <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク</li> </ul>	副会長 茂木 美保 理事 村西加寿美 前沢 葉子 長谷 規子 田中 千暁 下池 光
関東信越 (千葉県)	連絡協議会 R4. 10. 1（土） 10：30～13：00	Web開催  41名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歯科衛生士会情報提供</li> <li>・令和4年度組織委員会の取組みについて</li> <li>・各都県会からの協議事項についての意見交換</li> </ul> ①派遣事業について ②次期役員の決め方について ③Web研修による変化や新規会員獲得について ④SNSの活用について具体的な運営方法について ⑤他の職能団体との連携について ⑥コロナ禍における公衆衛生活動の現状と今後の取り組みについて ⑦歯科衛生士会への勧誘企画について 実施内容・協賛の有無・効果について ⑧研修会の案内のLINE活用と運営方法について ⑨デジタルインフォメーションの進め方やDXスキルアップ講習会の開催について ⑩日衛認定歯科衛生士の活用について ⑪会員増強対策における新人歯科衛生士卒業研修について ⑫同窓会との連携・同窓会の働きについて ⑬県・市町村依頼事業における人選派遣について	会長 吉田 直美  副会長 茂木 美保  理事 長谷 規子

			⑭派遣先でのキャンセル時の補償について ⑮新人歯科衛生士研修について ⑯研修会の運営について Google フォームや Zoom アカウント管理や工夫点について ・関東信越ブロック（10 都県）研修会の情報共有について協議事項	
	ブロック研修 R4.10. 1（土） 14：00～16：00	Web開催  70名	・講演「歯科衛生士の強みの戦略 ～伝え方の工夫セミナー～」 有限会社繁盛店研究所 代表取締役社長 ハワード・ジョイマン  ・グループワーク	会長 吉田 直美 副会長 茂木 美保 理事 村西加寿美 前沢 葉子 長谷 規子 田中 千暁 矢野加奈子 下池 光
東海北陸 (三重県)	連絡協議会 R4.11.12（土） 10：00～12：00	Web開催  25名	・日本歯科衛生士会情報提供 ・各県会からの協議事項について ① 会員動態調査について ② オンライン就業届と併せたアンケート調査の実施について ・各県会からの照会事項についての意見交換 ①会員拡大と退職者を防ぐための各県の対策について ②研究への取り組み方について ③研修会〔web 開催〕実施における課題について	会長 吉田 直美  副会長 茂木 美保  理事 田中 千暁
	ブロック研修 R4.11.12（土） 13：00～15：00	Web開催  50名	・講演「歯科衛生士の強みの戦略 ～伝え方の工夫セミナー～」 有限会社繁盛店研究所 代表取締役社長 ハワード・ジョイマン  ・グループワーク	副会長 茂木 美保 理事 村西加寿美 前沢 葉子 長谷 規子 田中 千暁 矢野加奈子 下池 光
近畿 (滋賀県)	連絡協議会 R4.12.11（日） 10：00～12：30	Web開催  26名	・日本歯科衛生士会情報提供 ・令和3年度近畿ブロック連絡協議会収支決算報告 ・各府県会より報告 ・協議事項 ①近畿デンタルショー2023 について ②関係団体、他団体よりの研修会周知依頼について ③10年を見据えた府県会のあり方について ・情報交換 ①年会費の納入方法や研修費の効率の良い集め方などについて ②新規会員獲得の方法 ③新卒者入会案内における歯科衛生士学校へのアプローチ方法 ④表彰候補者推薦について ⑤事務職員の研修会における業務内容について ⑥日本歯科衛生士会生涯研修受講単位申請について	会長 吉田 直美  副会長 茂木 美保  理事 村西加寿美

			<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦歯科衛生士を目指す人材増につながる働きかけについて</li> <li>⑧会員への連絡や案内の際に、内容によりメールとLINEの使い分けはされているか。</li> <li>⑨会の事業活動において集団指導の口腔内への実演は新型コロナウイルス感染状況により実施基準を設けているか、設けているならどのような基準か。</li> <li>⑩学生部との交流はどのようにされているか。</li> <li>⑪事業出動歯科衛生士の資質向上について <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul> </li> <li>①事業の見直しと今年度新規事業について</li> <li>②次期開催日について</li> <li>③次期ブロック理事について</li> </ul>	
	ブロック研修 R4. 12. 11 (日) 13:30~15:30	Web開催  64名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「歯科衛生士の強みの戦略 ～伝え方の工夫セミナー～」 有限会社繁盛店研究所 代表取締役社長 ハワード・ジョイマン</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	副会長 茂木 美保 理事 村西加寿美 前沢 葉子 長谷 規子 田中 千暁 矢野加奈子 下池 光
中国四国 (高知県)	連絡協議会 R4. 11. 27 (日) 10:00~12:00	Web開催  21名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歯科衛生士会情報提供</li> <li>・令和4年度組織委員会の取組みについて</li> <li>・集合型研修開催にあたっての感染対策について</li> <li>・学会参加プロジェクトについて</li> <li>・協議事項</li> <li>①実習型の研修会の取り組み方法</li> <li>②コロナ渦での公衆衛生活動の状況と今後の取り組みについて</li> <li>③今後のコロナ対策について</li> <li>・その他</li> <li>①令和3年度 中国四国ブロック連絡協議会収支決算書</li> <li>②次年度ブロック連絡協議会開催日について</li> </ul>	副会長 茂木 美保 理事 矢野加奈子 下池 光
	ブロック研修 R4. 11. 27 (日) 13:00~15:00	Web開催  32名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「歯科衛生士の強みの戦略 ～伝え方の工夫セミナー～」 有限会社繁盛店研究所 代表取締役社長 ハワード・ジョイマン</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	副会長 茂木 美保 理事 村西加寿美 前沢 葉子 長谷 規子 矢野加奈子 下池 光
九州 (宮崎県)	連絡協議会 R4. 11. 20 (日) 9:30~12:00	Web開催  43名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歯科衛生士会情報提供</li> <li>・協議事項</li> <li>①令和3年度事業報告(案)並びに収支決算(案)について</li> <li>②令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について</li> <li>③次期ブロック理事選定について</li> <li>④次年度九州ブロック連絡協議会及び研修会日程について</li> <li>⑤ブロック内で協議を要する議題等について</li> </ul>	会長 吉田 直美 副会長 久保山裕子 理事 下池 光

			九州ブロック照会事項の見直しについて 組織拡大とそのために利用している web 研修のあり方について	
	ブロック研修 R4.11.20(日) 13:00~15:00	Web開催  52名	・講演「歯科衛生士の強みの戦略 ～伝え方の工夫セミナー～」 有限会社繁盛店研究所 代表取締役社長 ハワード・ジョイマン  ・グループワーク	副会長 久保山裕子 理事 村西加寿美 長谷 規子 矢野加奈子 下池 光

### (3) 会員拡大・管理・育成に関すること

#### ① 歯科衛生士だより会報の発行、配布

68号	令和4年4月1日発行、配布	発行部数	20,100部
69号	令和4年6月1日発行、配布	発行部数	20,000部
70号	令和4年8月1日発行、配布	発行部数	22,400部
71号	令和4年10月1日発行、配布	発行部数	22,200部
72号	令和4年12月1日発行、配布	発行部数	22,400部
73号	令和5年2月1日発行、配布	発行部数	22,400部

主な配布先 会員、関係団体等

#### ② 会員証の発行、配布

#### ③ 歯科衛生士手帳の発行

発行部数 21,600部

主な配布先 会員、関係団体等

#### ④ 会員表彰

(正会員表彰) 功労賞 32名、永年精励賞 74名

(参考資料9)

#### ⑤ その他会員拡大・管理・育成に必要なこと

- ・入会案内の作成・配布等
- ・災害時における会員の安否確認システム

### (4) 歯科衛生士の人材確保・復職支援に関すること

- ① 歯科衛生士の復職支援・離職防止等に関する運営委員会(東京医科歯科大学、大阪歯科大学、広島大学、愛知学院大学短期大学部)への参画
- ② 歯科衛生士復職支援対策連絡協議会(日本歯科医師会)への参画

## 2 会員の相互扶助に関すること(他2)

### (1) 会員福祉規程に基づく死亡弔慰金、見舞金の給付

死亡弔慰金 13件、災害見舞金 3件、入院見舞金 42件

### (2) 団体保険の紹介(傷害保険、賠償責任保険)

## V その他本会の目的達成のために必要なこと

- (1) 関係省庁との連携・協力
- (2) 関係団体との連携・協力



(3) 要望書提出

厚生労働省及び関係者等に「令和5年度予算・制度等に関する要望書」を提出した。

(参考資料 10)

(4) 関係省庁、関係団体の役員、委員等

(一財) 歯科医療振興財団	理事 監事 評議員	吉田 直美 松田 智子 久保山裕子
(一財) 歯科医療振興財団 歯科衛生士試験企画評価委員会 歯科衛生士試験委員選考委員会	委員 委員	山田小枝子 山田小枝子
(公財) 8020 推進財団	理事	吉田 直美
(NPO) 日本歯周病学会 理事(日本歯科衛生士会選出理事) (NPO) 日本歯科保存学会 理事(日本歯科衛生士会選出理事)		高橋由希子 立澤 敦子
(一財) 日本スポーツ歯科医学会 理事(日本歯科衛生士会選出理事)		河野 章江
(公社) 日本障害者歯科学会「災害対策委員会」委員(オブザーバー)		久保山裕子
国際歯科衛生士連盟 (IFDH)	代議員 代議員	吉田 直美 河野 章江
公益社団法人日本歯科医師会 日本災害歯科保健医療連絡協議会		久保山裕子
令和4年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分) 「認知症の状況に応じた高齢者の継続的な口腔機能管理に関する調査研究事業」 委員会 委員	会長	吉田 直美
厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会 歯科口腔保健の推進に関する 専門委員会 委員	会長	吉田 直美
歯科医療提供体制等に関する検討会	委員	吉田 直美
「口腔保健に関する予防強化推進モデル事業 (歯科疾患の一次予防モデル事業の検証等)に係る調査研究等一式」検討会	委員	吉田 直美
歯科健康診査推進事業に係る調査研究等検討委員会	委員	吉田 直美
歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業 検討会議	委員	吉田 直美
歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業 総合評価部会	委員	吉田 直美
歯科保健医療情報サイトの在り方検討委員会委員会	委員	吉田 直美
日本在宅歯科医療・介護連携推進連絡協議会	委員	吉田 直美
JIMTEF 公益財団法人国際医療技術財団 災害医療委員会	委員	久保山裕子
(公財) ライオン歯科衛生研究所 評議員選定委員会	委員	茂木 美保
厚生労働省 「歯周病予防に関する実証事業」検討委員会	委員	河野 章江
(一社) 日本歯科医学会連合 医療職連携委員会	委員	吉田 直美
(一社) 日本歯科医学会連合 専門歯科衛生士制度検討ワーキンググループ	委員 委員 委員	吉田 直美 茂木 美保 吉田 幸恵
母子保健推進会議 「8020 の里賞」	審査委員	小前みどり

(一社)日本歯科専門医機構 専門医申請学会評価認定委員会 新規専門医制度小委員会	委員 委員	吉田 直美 茂木 美保
厚生労働省事業 歯科健康診査推進事業に係る調査研究等一式 「歯科健康診査推進事業検討委員会」	委員	吉田 直美
厚生労働省委託事業 「歯科口腔保健医療情報収集・分析等推進事業」検討会	委員	小前みどり
(一社)日本健康・栄養システム学会 令和4年度老人保健増進等事業 「通所事業所における口腔・栄養関連サービスに関する調査研究事業」検討委員会 「リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組に関する調査研究事業」 検討委員会	委員 委員	吉田 直美 吉田 直美
国立保健医療科学院 厚労科研「食育における口腔保健の推進のための研究」	研究協力者	小前みどり
令和4年度愛知学院大学短期大学部 歯科衛生士リカレント研修センター運営会議	オブザーバー	吉田 直美
第80回全国小学生歯みがき大会	組織委員	河野 章江
広島大学歯学部歯科衛生士教育センター運営委員会	陪席者	河野 章江

(5) 加入団体及び後援協力事業

参考資料 11に記載のとおり

(6) 前会長 武井典子さんを偲ぶ会 開催

期 日 令和4年6月12日(日)  
場 所 ステーションコンファレンス東京 503  
参加者 111名

## VI 諸 会 議

### 1 代議員会

#### 定時代議員会

期 日 令和4年6月12日(日)  
場 所 ステーションコンファレンス東京 501  
会議の成立 代議員総数 88名  
出席代議員 84名  
(うち議決権行使44名、委任状提出3名)  
出席理事数 19名  
出席監事数 2名  
出席顧問数 2名  
議 長 山口 千里(大阪府)  
副 議 長 天本 和子(福岡県)  
議事録署名人 小野 淑子(山形県)、佐塚真理子(静岡県)  
議 事 第1号議案 令和3年度事業報告(案)に関する件  
第2号議案 令和3年度決算報告(案)に関する件  
第3号議案 選挙管理委員の選任に関する件

## 2 理 事 会

開 催 日	開催場所	出席者
(第1回) R4. 5. 22	日本歯科衛生士会会議室	理事 19名、監事 2名、顧問等 3名
(第2回) R4. 7. 10	日本歯科衛生士会会議室	理事 19名、監事 2名、顧問 2名
(第3回) R4. 10. 2	日本歯科衛生士会会議室	理事 20名、監事 2名、顧問等 3名
(第4回) R4. 12. 3	日本歯科衛生士会会議室	理事 19名、監事 2名、顧問等 3名
(第5回) R5. 1. 22	日本歯科衛生士会会議室	理事 20名、監事 2名、顧問等 3名
(第6回) R5. 3. 12	日本歯科衛生士会会議室	理事 19名、監事 2名、顧問 2名

### 議事内容

#### 第1回理事会（令和4年5月22日）

- ・令和3年度事業報告（案）について
- ・令和3年度決算報告（案）について
- ・令和3年度特定費用準備資金等の積立について
- ・令和3年度事業報告に係る提出書（内閣府）について
- ・選挙管理委員の選任（案）について
- ・令和4年度会長表彰について
- ・令和4年度「地域歯科衛生活動」助成事業（案）について
- ・広報委員会委員の委嘱について
- ・新入員の承認について
- ・日本歯周病学会令和5-6年度5項理事の推薦について
- ・理事の職務分掌について
- ・令和4年度災害歯科保健歯科衛生士育成研修および災害時に活動する歯科衛生士の登録について
- ・日本歯科衛生学会第17回額術大会開催要領（変更案）について
- ・高槻高等学校生徒の「咀嚼」に関する課題研究について
- ・歯科衛生士試験企画評価委員会委員の委嘱依頼について
- ・厚生労働省「歯科健康診査推進事業検討委員会」委員の委嘱依頼について
- ・第67回日本口腔外科学会総会・学術大会「第14回歯科衛生士研究会」について

#### 第2回理事会（令和4年7月10日）

- ・令和5年度予算・制度等に関する要望について
- ・専門歯科衛生士制度検討プロジェクトチームの設置について
- ・都道府県歯科衛生士会への研修支援について（案）
- ・全国歯科衛生士教育協議会からの依頼に対する回答について：歯科衛生士養成所指導ガイドラインおよび歯科衛生学教育モデル・コア・カリキュラム
- ・生涯研修委員会委員の委嘱について
- ・国際協力委員会委員の委嘱について
- ・災害歯科保健歯科衛生士セミナーの開催について
- ・新入会員の承認について
- ・令和4年度「健やか親子21-8020の里賞－（ロッセ賞）」の審査委員の推薦について
- ・一般社団法人日本歯科専門医機構専門医申請学会評価認定委員会委員の就任について

#### 第3回理事会（令和4年10月2日）

- ・次期代議員選挙の告示及び都道府県別代議員数について
- ・令和4年度歯科衛生推進フォーラム及び都道府県歯科衛生士会会長会の開催について
- ・令和4年度歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業について

- ・令和4年度全国病院歯科衛生士連絡協議会実施要領（案）について
- ・日本歯科衛生学会第19回(令和6年度)学術大会開催担当都道府県会及び大会長について
- ・都道府県歯科衛生士会への研修支援事業について
- ・終身会員の承認について
- ・新入会員の承認について
- ・日本歯科衛生学会第18回学術大会（令和5年度）、韓国歯科衛生学会会長の招聴講演について

#### 第4回理事会（令和4年12月3日）

- ・令和5年度ブロック連絡協議会、ブロック研修実施要領（案）について
- ・令和4年度歯科衛生推進フォーラム及び都道府県歯科衛生士会会長会の開催について
- ・令和5年度認定歯科衛生士セミナー実施計画（案）について
- ・令和5年度「地域歯科衛生活動」事業の助成について
- ・特定費用準備資金の積立について
- ・令和5年度事業計画の概要（案）について
- ・日本歯科衛生学会 利益相反委員会の設立について
  - 日本歯科衛生学会研究等の利益相反に関する指針（案）について
  - 日本歯科衛生学会規則一部改正（案）について
  - 日本歯科衛生学会運営細則一部改正（案）について
  - 日本歯科衛生学会利益相反委員会規程（案）について
- ・日本歯科衛生学会 利益相反委員会委員の委嘱について
- ・委員の委嘱について
  - 認定歯科衛生士委員会委員の委嘱について
  - 指導者等講習会企画運営委員会委員の委嘱について
- ・新入会員の承認について
- ・インスタグラム開設ならびに運用方法（案）について
- ・一般社団法人日本顎関節学会 第36回総会・学術大会での共催シンポジウム実施について

#### 第5回理事会（令和5年1月22日）

- ・日本歯科衛生学会第18回学術大会ハイブリッド開催費用、参加費等について
- ・第26回感染症予防歯科衛生士講習会実施要領（案）について
- ・令和5年度職員給与について
- ・令和5年度各委員会の活動計画（案）について
- ・令和5年度事業計画（案）について
- ・令和5年度収支予算（内訳書）案について
- ・役員報酬等に関する規程の改正について
- ・旅費規程の改正について
- ・次期役員選任の公示について
- ・新入会員の承認について
- ・第5次生涯研修制度について
  - 第5次生涯研修制度実施要綱及び第5次生涯研修制度実施要綱細則の一部改正について
  - 認定歯科衛生士制度規則及び認定歯科衛生士制度施行細則の一部改正について
- ・令和4年度地域歯科保健活動実施状況調査について
- ・歯科衛生士試験委員選考委員会委員の推薦について

#### 第6回理事会（令和5年3月12日）

- ・令和5年度各委員会の活動計画（案）について
- ・役員報酬等に関する規程の改正について
- ・令和4年度特定資産取得・改良資金の積立について
- ・令和5年度事業計画（案）について

- ・令和5年度収支予算（案）について
- ・令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- ・令和5年度定時代議員会開催（案）について
- ・監事候補者（公認会計士）の推薦について
- ・パート職員就業規則の改正について
- ・認定歯科衛生士委員会委員の委嘱について
- ・地域歯科衛生活動助成事業審査委員会委員の委嘱について
- ・日本歯科衛生学会規則及び日本歯科衛生学会運営細則の改正について
- ・新入会員の承認について
- ・都道府県歯科衛生士会の災害歯科保健業務調整(ロジスティクス)歯科衛生士及び災害歯科保健コーディネーター歯科衛生士の推薦について
- ・認定歯科衛生士の英語表記について
- ・日本歯科衛生学会企画第二委員会委員の委嘱について

### 3 常務理事会

- 第1回 令和4年4月16日(土)
- 第2回 令和4年6月25日(土)
- 第3回 令和4年9月10日(土)
- 第4回 令和4年11月12日(土)
- 第5回 令和5年2月23日(土)

### 4 常任委員会・専門委員会

委員会名	開催日	
<b>(常任委員会)</b> 生涯研修委員会	第1回	令和4年4月23日
	第2回	6月19日
	第3回	7月23日
	第4回	10月15日
	第5回	令和5年1月8日
認定歯科衛生士委員会	第1回	令和4年4月10日
	第2回	10月30日
	第3回	令和5年1月8日
	第4回	2月26日
生涯研修部合同委員会	第1回	令和5年1月8日
歯科衛生推進委員会 病院委員会	第1回	令和4年4月23日
	第2回	6月4日
	第3回	8月21日
	第4回	9月23日
	第5回	10月12日
	第6回	11月6日
	第7回	11月26日
	第8回	令和5年1月6日
診療所委員会	第1回	令和4年4月24日
	第2回	6月5日
	第3回	9月23日
	第4回	10月3日
	第5回	11月3日
	第6回	12月3日
	第7回	12月26日
病院・診療所合同委員会	第1回	令和5年3月23日

地域歯科保健委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	令和4年4月29日 7月9日 10月15日 12月17日 令和5年3月18日
教育養成委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	令和4年9月1日 10月18日 11月21日 12月22日 令和5年2月24日
在宅・施設口腔健康管理委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	令和4年4月16日 6月18日 9月17日 11月12日 令和5年1月7日 2月15日
災害歯科保健委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	令和4年5月1日 6月18日 9月3日 12月10日 令和5年3月4日
広報委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	令和4年4月21日 6月16日 8月18日 12月22日 令和5年3月2日
国際協力委員会	第1回	令和4年8月7日
組織委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	令和4年5月28日 6月27日 7月23日 8月30日 10月29日 11月16日 12月17日 令和5年1月21日 3月11日
組織、災害歯科保健、地域歯科保健合同委員会	第1回 第2回	令和4年4月10日 11月19日
表彰審査会	第1回 第2回	令和4年8月7日 令和5年2月7日
選挙管理委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	令和4年9月11日 令和5年1月8日 1月15日 3月12日
(専門委員会) 認定歯科衛生士審査会	第1回 第2回	令和4年12月4日 令和5年2月4日
「地域歯科衛生活動」助成事業 審査委員会	第1回	令和4年5月7日
(日本歯科衛生学会委員会等) 学会運営協議会	第1回	令和4年9月25日

学会幹事会	第1回	令和4年5月9日
	第2回	9月25日
	第3回	11月8日
	第4回	12月2日
	第5回	令和5年2月14日
学術プログラム委員会	第1回	令和4年11月9日
学術表彰選考委員会	第1回	令和4年5月17日
学会委員会		
企画委員会	第1回	令和4年10月7日
編集委員会	第1回	令和4年5月25日
総務委員会	第1回	令和4年5月3日
	第2回	5月5日
	第3回	5月16日
	第4回	9月29日
倫理審査委員会	第1回	令和5年3月9日

## Ⅶ 監査

### 事業及び会計監査

#### 第1回

開催日 令和4年5月17日(火)  
開催場所 本会会議室  
監査対象期間 令和3年度、令和4年2月～3月  
出席者 渡邊監事、今村監事  
吉田会長、茂木副会長、久保山副会長、河野専務理事、根岸常務理事  
金澤顧問、松田顧問

#### 第2回

開催日 令和4年9月9日(火)  
開催場所 本会会議室  
監査対象期間 令和4年4月～7月  
出席者 渡邊監事、今村監事  
吉田会長、河野専務理事、根岸常務理事

#### 第3回

開催日 令和4年12月2日(金)  
開催場所 本会会議室  
監査対象期間 令和4年8月～10月  
出席者 渡邊監事、今村監事  
吉田会長、茂木副会長、久保山副会長、河野専務理事

#### 第4回

開催日 令和5年2月17日(金)  
開催場所 本会会議室  
監査対象期間 令和4年11月～令和5年1月  
出席者 渡邊監事、今村監事  
吉田会長、河野専務理事、根岸常務理事

参考資料 1

I 会員の状況

1 会 員 21,505 名(社含む)

正 会 員 15,721 名  
 [ 正 会 員 15,635 名  
 正 会 員 (名譽会員) 4 名  
 正 会 員 (終身会員) 82 名 ]

準 会 員 5,784 名(社含む)  
 [ 学 生 会 員 5,638 名  
 第 二 会 員 115 名  
 賛 助 会 員 31 社 ]

名譽会員 (4 名)

佐々木富美子 (大阪府)  
 百束 雅子 (千葉県)  
 小林キクイ (新潟県)  
 金澤 紀子 (東京都)

終身会員 (82 名)

北海道 3 名、青森県 2 名  
 岩手県 1 名、宮城県 1 名  
 秋田県 2 名、山形県 1 名  
 福島県 1 名、茨城県 2 名  
 群馬県 1 名、埼玉県 2 名  
 千葉県 6 名、東京都 6 名  
 神奈川県 2 名、山梨県 1 名  
 石川県 1 名、静岡県 2 名  
 愛知県 5 名、三重県 1 名  
 滋賀県 2 名、京都府 3 名  
 大阪府 9 名、兵庫県 3 名  
 和歌山県 1 名、鳥取県 2 名  
 岡山県 4 名、広島県 6 名  
 香川県 1 名、愛媛県 4 名  
 福岡県 2 名、熊本県 1 名  
 大分県 2 名、鹿児島県 1 名  
 沖縄県 1 名

物故会員 (14 名)

名取 文子 (東京都)  
 伊藤 千絵 (愛知県)  
 平野 智恵子 (長野県)  
 空池 智子 (兵庫県)  
 伊地知 典子 (鹿児島県)  
 椎木 佳子 (神奈川県)  
 大西 陽子 (徳島県)  
 村上 愛子 (山形県)  
 金田 民子 (兵庫県)  
 西内 美津子 (高知県)  
 山田 亮子 (新潟県)  
 三鍋 恵子 (北海道)  
 渡邊 澄子 (京都府)  
 国枝 京子 (岐阜県)

正会員の都道府県会別内訳

都道府県	継続会員	新入会員	R5. 3. 31
北海道	551	51	602
青森県	106	8	114
岩手県	205	4	209
宮城県	184	20	204
秋田県	78	3	81
山形県	129	7	136
福島県	277	6	283
茨城県	225	12	237
栃木県	138	6	144
群馬県	307	16	323
埼玉県	403	16	419
千葉県	431	92	523
東京都	1,064	114	1,178
神奈川県	525	27	552
山梨県	116	3	119
長野県	387	47	434
新潟県	459	13	472
富山県	113	6	119
石川県	125	46	171
福井県	67	4	71
岐阜県	365	18	383
静岡県	462	16	478
愛知県	907	57	964
三重県	276	18	294
滋賀県	183	6	189
京都府	292	11	303
大阪府	909	72	981
兵庫県	1,083	170	1,253
奈良県	149	7	156
和歌山県	113	13	126
鳥取県	90	3	93
島根県	195	5	200
岡山県	276	10	286
広島県	414	35	449
山口県	163	4	167
徳島県	152	10	162
香川県	263	11	274
愛媛県	190	11	201
高知県	146	4	150
福岡県	585	34	619
佐賀県	137	8	145
長崎県	186	41	227
熊本県	460	46	506
大分県	194	9	203
宮崎県	72	5	77
鹿児島県	179	19	198
沖縄県	201	45	246
計	14,532	1,189	15,721



学生会員加入校一覧

令和5年3月 31日現在

学校数	都道府県	加入数	学 校 名	1年	2年	3年	4年	大学院等	合計
(11)	北海道	1	小樽歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科	21	26	26			73
		2	帯広コア専門学校 歯科衛生士科	13	24				37
		3	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科		15	14			29
		4	札幌医学技術福祉歯科専門学校 歯科衛生士科		1				1
		5	札幌看護医療専門学校 歯科衛生士学科		1				1
		6	札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科			3			3
		7	北海道歯科衛生士専門学校	2	16	5			23
		8	吉田学園医療歯科専門学校 歯科衛生士学科	48	45	37			130
(3)	青森県	9	青森歯科医療専門学校 歯科衛生士科		1				1
		10	八戸保健医療専門学校 歯科衛生士学科	40	28	17			85
(2)	岩手県	11	岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生士学科	1		3			4
		12	盛岡看護医療大学校 歯科衛生士学科		12	11			23
(2)	福島県	13	東北歯科専門学校 歯科衛生士科		1	32			33
		14	福島医療専門学校 歯科衛生士科	59	54	62			175
(4)	茨城県	15	茨城歯科専門学校 歯科衛生士科	53	47	47			147
		16	つくば歯科福祉専門学校 歯科衛生士科	20	16	18			54
		17	取手歯科衛生専門学校	42	39	31			112
(3)	栃木県	18	栃木県立衛生福祉大学校 歯科技術学部歯科衛生士学科			18			18
(5)	群馬県	19	太田医療技術専門学校 歯科衛生士学科			38			38
		20	中央医療歯科専門学校 太田校 歯科衛生士学科			42			42
		21	中央医療歯科専門学校 高崎校 歯科衛生士学科			44			44
(4)	埼玉県	22	葵メディカルアカデミー 歯科衛生科			28			28
(5)	千葉県	23	北原学院歯科衛生専門学校			110			110
		24	北原学院千葉歯科衛生専門学校			96			96
		25	千葉県立保健医療大学 健康科学部歯科衛生士学科				1		1
		26	明海大学 保健医療学部 口腔保健学科				9		9
(20)	東京都	27	新宿医療専門学校 歯科衛生士学科	6	3	104			113
		28	東京医科歯科大学 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻		4	1	6		11
		29	東京歯科衛生専門学校	3		1			4
		30	東京歯科大学短期大学 歯科衛生士学科			47			47
		31	日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校		13	28			41
(6)	神奈川県	32	湘南歯科衛生士専門学校		40	51			91
		33	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校	47	44	44			135
		34	横浜歯科医療専門学校 歯科衛生士学科		1				1
(1)	山梨県	35	山梨県歯科衛生専門学校			43			43

学校数	都道府県	加入数	学校名	1年	2年	3年	4年	大学院等	合計
(4)	長野県	36	長野医療衛生専門学校 歯科衛生士学科			22			22
		37	長野県公衆衛生専門学校 歯科衛生士学科			19			19
		38	長野平青学園 歯科衛生士科			23			23
		39	松本歯科大学衛生学院 歯科衛生士学科			33			33
(4)	新潟県	40	三条看護・医療・歯科衛生専門学校			4			4
		41	明倫短期大学 歯科衛生士学科			32			32
(1)	富山県	42	富山歯科総合学院 歯科衛生士科			39			39
(2)	石川県	43	石川県歯科医師会立歯科医療専門学校 歯科衛生士科			52			52
(1)	福井県	44	福井歯科専門学校 歯科衛生士科			1			1
(3)	岐阜県	45	朝日大学歯科衛生士専門学校			70			70
		46	大垣女子短期大学 歯科衛生学科			50			50
		47	岐阜県立衛生専門学校 歯科衛生学科			19			19
(6)	静岡県	48	静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科		2				2
		49	中央医療健康大学校 歯科衛生学科			37			37
		50	中央歯科衛生士調理製菓専門学校 歯科衛生学科			31			31
		51	東海歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科			25			25
		52	浜松歯科衛生士専門学校	1		40			41
(11)	愛知県	53	愛知学院大学短期大学部 専攻科					10	10
		54	慈恵歯科医療ファッション専門学校 歯科衛生士学科	35	35	29			99
		55	ナゴノ福祉歯科医療専門学校 歯科衛生士科			70			70
		56	名古屋医健スポーツ専門学校 歯科衛生科			39			39
		57	名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校			24			24
		58	名古屋ユマニテク歯科衛生専門学校 歯科衛生学科			115			115
		59	三河歯科衛生専門学校			34			34
(3)	三重県	60	伊勢保健衛生専門学校 歯科衛生学科			23			23
		61	三重県立公衆衛生学院 歯科衛生学科			30			30
		62	ユマニテク医療福祉大学校 歯科衛生学科			32			32
(1)	滋賀県	63	滋賀県立総合保健専門学校 歯科衛生学科	2		2			4
(3)	京都府	64	京都歯科医療技術専門学校 衛生士科	2		6			8
		65	京都文化医療専門学校 歯科衛生学科	2		3			5
(15)	大阪府	66	大阪歯科学院専門学校 歯科衛生士学科			52			52
		67	大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科		2	2	48		52
		68	大阪府歯科医師会附属歯科衛生士専門学校			71			71
		69	関西女子短期大学 歯科衛生学科	1		6			7
		70	堺歯科衛生士専門学校			30			30
		71	新大阪歯科衛生士専門学校	127	130	118			375
		72	太成学院大学歯科衛生専門学校	19	21	14			54
		73	なにわ歯科衛生専門学校			106			106
		74	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科	3	3	13	4		23
		75	行岡医学技術専門学校 歯科衛生科	50	48	34			132

学校数	都道府県	加入数	学校名	1年	2年	3年	4年	大学院等	合計
(6)	兵庫県	76	大手前短期大学 歯科衛生学科		72	72			144
		77	神戸常盤大学 保健科学部 口腔保健学科			57			57
		78	姫路歯科衛生専門学校		33	41			74
		79	兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院 歯科衛生学科		86	60			146
	兵庫県	80	兵庫県立総合衛生学院 歯科衛生学科		37	38			75
(1)	和歌山県	81	和歌山県歯科衛生士専門学校	38	34	31			103
(1)	鳥取県	82	鳥取県立歯科衛生専門学校			22			22
(1)	島根県	83	島根県歯科技術専門学校 歯科衛生士科	1	2	3			6
(3)	岡山県	84	朝日医療大学校 歯科衛生学科	43	30	54			127
		85	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校	56	57	29			142
(5)	広島県	86	広島高等歯科衛生士専門学校			54			54
		87	広島大学歯学部口腔健康科学科 口腔保健学専攻				18		18
(5)	徳島県	88	徳島穴吹カレッジ 歯科衛生士学科			7			7
		89	四国歯科衛生士学院専門学校			19			19
		90	徳島歯科学院専門学校 歯科衛生士科		18	28			46
		91	徳島大学歯学部口腔保健学科・大学院			15	15	5	35
		92	徳島文理大学 保健福祉学部 口腔保健学科				9		9
(2)	香川県	93	穴吹医療大学校 歯科衛生学科			12			12
		94	香川県歯科医療専門学校 衛生士科		55	33			88
(3)	愛媛県	95	河原医療大学校 歯科衛生学科	44	40	40			124
		96	河原医療大学校 新居浜校 歯科衛生学科	24	19				43
		97	松山歯科衛生士専門学校 歯科衛生学科		41	39			80
(8)	福岡県	98	九州歯科大学 歯学部 口腔保健学科	8	2	25	18		53
		99	久留米歯科衛生専門学校	5					5
		100	博多メディカル専門学校 歯科衛生士科	1		43			44
		101	福岡医療短期大学 歯科衛生学科	43	1				44
		102	福岡歯科衛生専門学校		1	6			7
(2)	佐賀県	103	佐賀歯科衛生専門学校	44	37	29			110
(2)	長崎県	104	九州文化学園歯科衛生士学院			24			24
		105	長崎歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科			39			39
(3)	熊本県	106	熊本歯科技術専門学校 歯科衛生士科			31			31
(3)	大分県	107	大分歯科専門学校 歯科衛生士科			23			23
		108	藤華歯科衛生専門学校 歯科衛生学科		14	12			26
(2)	鹿児島県	109	鹿児島歯科学院専門学校 歯科衛生士科			28			28
		110	鹿児島医療福祉専門学校 歯科衛生学科			30			30
(2)	沖縄県	111	沖縄歯科衛生士学校			45			45
				904	1251	3340	128	15	5638

## 賛助会員名簿

令和5年3月31日現在

医歯薬出版株式会社  
一世印刷株式会社  
ウエルテック株式会社  
長田電機工業株式会社  
株式会社オール・デンタル・ジャパン  
株式会社カンミ堂  
株式会社クオキャリア  
株式会社グッピーズ  
グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社  
株式会社クリニコ  
クロスフィールド株式会社  
小林製薬株式会社  
有限会社佐々木広告社  
サンスター株式会社  
株式会社ジェイ・エム・エス  
株式会社ジーシー  
株式会社ジーシー昭和薬品  
株式会社松風  
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社コンシューマーカンパニー  
ゾンネボード製薬株式会社  
タカラベルモント株式会社  
株式会社デンタルダイヤモンド社  
株式会社ニッシン  
日本歯科薬品株式会社  
ヒューフレディ・ジャパン合同会社  
株式会社ビーブランド・メディコーデンタル  
メディア株式会社  
株式会社モリタ  
株式会社ヨシダ  
ライオン歯科材株式会社  
株式会社YDM

(31社, 50音順)

## 参考資料 2

### II 理事、監事、代議員、顧問、職員

#### 1 理事

会長	吉田 直美	
副会長	茂木 美保	(生涯研修、組織)
	久保山裕子	(歯科衛生推進)
専務理事	河野 章江	(広報、国際、認定研修、総務、調査、指導者等講習会)
常務理事	根岸 麻理	(財務)
	武藤 智美	(病院・診療所、医療連携)
	浪岡多津子	(生涯研修)
	山口 朱見	(在宅・施設口腔健康管理)
	小前みどり	(地域歯科保健、災害歯科保健)
理事	石川奈保美	(学会)
	島谷 和恵	(広報)
	須山 弘子	(認定研修)
	松本 厚枝	(学会)
	山田小枝子	(教育養成)
	前沢 葉子	(組織)
	長谷 規子	(組織)
	田中 千暁	(組織)
	村西加寿美	(組織)
	矢野加奈子	(組織)
	下池 光	(組織)

#### 2 監事

会員	渡邊 洋子
会員外	今村 敬

#### 3 代議員 88名 別紙 代議員名簿のとおり

#### 4 顧問

会員	金澤 紀子
会員	松田 智子
弁護士	宮武 洋吉
税理士	小林 広樹

#### 5 学会顧問

東京医科歯科大学教授	木下 淳博
新潟大学名誉教授	宮崎 秀夫
東京歯科大学短期大学学長	鳥山 佳則

#### 6 事務職員

事務局長	岡本 賢介
主任	中川 恵美
係員	新垣 利絵、増田 望、小林ノリヨ、吉田 麻貴、島田美奈代 柴崎 昌子 (※)、鈴木 恵子 (※) (※) R5.3.31 退職
パート職員	三本華余子
嘱託職員	杉本久美子

## 代 議 員 名 簿

(令和5年3月代議員選挙終了まで)

会 名	代 議 員	備 考	会 名	代 議 員	備 考
北海道	市 川 智 恵		愛知県	長 縄 弥 生	
	竹 内 聖 子			渡 邊 理 沙	
	宮 本 亜有美		三重県	笹 間 滋 代	
青森県	田名辺 裕 子			丹 羽 友 美	
岩手県	大 友 さつき		滋賀県	土 屋 奈 美	
宮城県	加 藤 みゆき		京都府	谷 内 妙 子	
秋田県	甫 仮 貴 子			橋 本 美 影	
山形県	小 野 淑 子		大阪府	郡 一 美	
福島県	玉 川 春 美			間 狩 みな子	
	和 田 嘉代子			品 田 和 子	
茨城県	岩 村 昌 子			山 口 千 里	
栃木県	中 村 美智子			米 田 裕 香	
群馬県	長谷川 万 里			兵庫県	高 橋 千 鶴
	青 木 和 美		澤 田 眞由美		
埼玉県	金 子 典 子		岩 崎 小百合		
	富 永 悦 子		石 井 美 和		
千葉県	時 田 一 枝		栗 原 知 子		
	高 澤 みどり		清 水 豊 子		
東京都	大 金 伸 子		奈良県	野 末 優 子	
	細 田 江美子			米 田 衣 代	
	関 口 晴 子		和歌山県	山 下 千 穂	
	藤 山 美 里		鳥取県	石 井 奈 美	
	佐 藤 祥 子		島根県	安 部 美智野	
	佐 藤 静 香		岡山県	杉 山 珠 美	
神奈川県	打 矢 純 子			三 浦 留 美	
	岡 本 香		広島県	相 見 礼 子	
	中向井 政 子			三 好 早 苗	
山梨県	永 井 鈴 美		山口県	金 子 郁 子	
長野県	宮 嶋 典 子		徳島県	河 野 美枝子	
	宮 澤 真 弓		香川県	木 戸 みどり	
新潟県	柴 田 佐都子		愛媛県	川 上 三 紀	
	薄 波 清 美		高知県	植 田 彩 子	
	山 崎 喜代子		福岡県	天 本 和 子	
富山県	山 田 尚 代			岩 男 好 恵	
石川県	須 貝 美 夏			松 永 真理子	
福井県	川 端 登代美		佐賀県	八 木 浩 子	
岐阜県	藤 井 重 子		長崎県	田 中 朝 子	
	奥 村 美 雪		熊本県	中 園 真由美	
静岡県	大 川 晃 子			越 川 由 紀	
	佐 塚 真理子			中 村 加代子	
	森 野 智 子		大分県	有 松 ひとみ	
愛知県	金 森 いづみ		宮崎県	近 藤 泰 子	
	細久保 真理子		鹿児島県	下 川 真 弓	
	柴 田 享 子		沖縄県	野 田 直 美	

参考資料 3

常任委員会等名簿

1) 常任委員会・専門委員会

令和5年3月31日現在

委員会名	委員名
(常任委員会) 生涯研修委員会	◎浪岡多津子(常務理事)、○横田 忍(大阪府)、佐藤 伸子(東京都) 秋山 恭子(埼玉県)、尾形 祐己(大阪府)、高橋由希子(福岡県)
認定歯科衛生士委員会	◎須山 弘子(理事)、○水上 美樹(東京都)、小山 圭子(東京都) 深川 優子(東京都)、青柳三千代(東京都)、清水けふ子(埼玉県) 金子 信子(大阪府)、小田 奈央(東京都)、柴田 享子(愛知県) 田中 祐子(東京都)、柴田 由美(東京都)、大屋 朋子(千葉県) 中岡美由紀(広島県)、松本 美佐(東京都)、中田 悠(東京都) 会沢 咲子(東京都)
歯科衛生推進委員会 病院委員会	◎武藤 智美(常務理事)、○山本 伸子(滋賀県)、池上由美子(東京都) 古川由美子(熊本県)、石井 美和(兵庫県)、大屋 朋子(千葉県)
診療所委員会	◎武藤 智美、○小林 明子(東京都)、小森 朋栄(東京都) 渡邊 奈菜(静岡県)、岩男 好恵(福岡県)、塩浦 有紀(東京都)
地域歯科保健委員会	◎小前みどり(常務理事)、○安部美智野(島根県)、長 優子(東京都) 中村 恵奈(愛知県)、玉川 春美(福島県)、楠田 美佳(熊本県)
教育養成委員会	◎山田小枝子(理事)、菅野 亜紀(東京都)、鈴木 瞳(東京都) 諏訪間加奈(新潟県)、関口 洋子(東京都)、安井真奈美(岐阜県)
在宅・施設口腔健康 管理委員会	◎山口 朱見(常務理事)、○篠原 弓月(東京都)、佐藤 奈美(山形県) 松尾 由佳(奈良県)、原口 公子(福岡県)
災害歯科保健委員会	◎小前みどり(常務理事)、○水内 志穂(東京都)、村西加寿美(理事) 宮脇恵美子(鹿児島県)、原口 公子(福岡県)
国際協力委員会	◎河野 章江(専務理事)、○宮澤 絢子(東京都)、二宮 望(大阪府) 竹之内 茜(東京都)、藤原奈津美(徳島県)、松田 悠平(東京都)
広報委員会	◎島谷 和恵(理事)、○須永 昌代、喜田さゆり(東京都) 北澤 浩美(東京都)、安達奈穂子(東京都)、野口真里子(埼玉県)
組織委員会	◎村西加寿美、○長谷 規子、前沢 葉子、田中 千暁、矢野加奈子、下池 光
選挙管理委員会	大塚 則子(栃木県)、柴田 明美(埼玉県)、北田つねこ(千葉県) 柳瀬 琴江(東京都)、清田 法子(神奈川県)、上原 美里(長野県) 岡本 直子(静岡県) 予備委員 原 瑞穂(栃木県)、福田 尚子(埼玉県)、植田佐知子(千葉県) 知念 章子(東京都)、佐野 孝子(神奈川県)、原澤 典子(長野県) 竹内百合子(静岡県)
表彰審査会	◎大金 伸子(東京都)、○廣瀬加奈恵(埼玉県)加藤千鶴子(神奈川県) 重富 澄子(山口県)、高橋 千鶴(兵庫県)
(専門委員会) 認定歯科衛生士審査会	秋房 住郎(日本口腔衛生学会)、下山 和弘(日本老年歯科医学会) 那須 郁夫(日本老年歯科医学会)、井上 誠(日本摂食嚥下リハビリテーション学会) 加賀谷 斉(日本摂食嚥下リハビリテーション学会)、島村 和宏(日本障害者歯科学会) 立澤 敦子(日本歯科保存学会、日本歯科衛生学会) 松山 美和(徳島大学大学院)、松浦 信幸(東京歯科大学市川総合病院) 太田 耕司(広島大学大学院)、大久保喜恵子(埼玉県)、橋場 佳子(大阪府)
医療連携歯科衛生士委員会	武藤 智美(常務理事)、立澤 敦子(東京都)、石井 美和(兵庫県)
「地域歯科衛生活動」 助成事業審査委員会	久保山裕子(副会長)、小前みどり(常務理事)、立澤 敦子(東京都) 小栗智江子(愛知県)、大島 克郎(日本歯科大学東京短期大学)
生涯研修プログラム 向上委員会	茂木 美保(副会長)、久保山裕子(副会長)、河野 章江(専務理事) 浪岡多津子(常務理事)、須山 弘子(理事)、山田小枝子(理事) 水上 美樹(東京都)、横田 忍(大阪府)
指導者等講習会企画運 営委員会	松本 厚枝(理事)、小森 朋栄(東京都)、上原 弘美(兵庫県) 岡田 昌子(千葉県)、高田橋美幸(大阪府)、高阪 利美(愛知県) 西村 瑠美(広島県)、大川 直美(兵庫県)、藤原奈津美(徳島県) 宮澤 絢子(兵庫県)

◎委員長、○副委員長

2) 日本歯科衛生学会委員会等

委員会名	委員名
学会運営協議会	吉田 幸恵 (学会長)、石川奈保美 (理事)、松本 厚枝 (理事) 立澤 敦子 (幹事長)、畠中 能子 (副幹事長)、川本 亜紀 (副幹事長) 麻賀多美代 (幹事)、今井 光枝 (幹事)、小倉 千幸 (幹事) 河野美枝子 (第17回学術大会長)、森野 智子 (第18回学術大会長)
学会幹事会	吉田 幸恵 (学会長)、石川奈保美 (理事)、松本 厚枝 (理事) 立澤 敦子 (幹事長)、畠中 能子 (副幹事長)、川本 亜紀 (副幹事長) 麻賀多美代 (幹事)、今井 光枝 (幹事)、小倉 千幸 (幹事)
学術プログラム委員会	吉田 幸恵 (学会長)、石川奈保美 (理事)、松本 厚枝 (理事) 立澤 敦子 (幹事長)、畠中 能子 (副幹事長)、川本 亜紀 (副幹事長) 麻賀多美代 (幹事)、今井 光枝 (幹事)、小倉 千幸 (幹事) 森野 智子 (第18回学術大会長)、佐塚真理子 (第18回準備委員長)
学術表彰選考委員会	木下 淳博 (顧問・東京医科歯科大学教授) 鳥山 佳則 (顧問・東京歯科大学短期大学学長) 宮崎 秀夫 (顧問・新潟大学名誉教授) 吉田 直美 (会長) 吉田 幸恵 (学会長)、河野 章江 (専務理事) 石川奈保美 (理事)、松本 厚枝 (理事) 立澤 敦子 (幹事長) 畠中 能子 (副幹事長)、川本 亜紀 (副幹事長) 麻賀多美代 (幹事)、今井 光枝 (幹事)、小倉 千幸 (幹事)
学会委員会 企画委員会	◎小倉 千幸 (幹事) ○山村有希子、岩隈 好恵、阿部 智美
編集委員会	◎畠中 能子 (副幹事長) ○麻賀多美代 (幹事)、○新井 恵、○伊藤 奏 松田 悠平、藤原奈津美、西村 瑠美
総務委員会	◎川本 亜紀 (副幹事長) ○江口 貴子、山中 紗都
倫理審査委員会	◎今井 光枝 (幹事) ○星合 愛子、大川 由一、鳥山 佳則、関根 透、白石 泰夫、宮武 洋吉 鈴木 瞳、西保 亜希
利益相反委員会	◎今井 光枝 (幹事) 鈴木 瞳、西保 亜希、畠中 能子、星合 愛子、鳥山 佳則

◎委員長、○副委員長



参考資料 4

令和4年度 第5次生涯研修制度 専門研修開催状況

	歯周治療の基本技術		摂食嚥下機能療法の基本技術		リフレッシュコース		歯科診療所等における医療安全管理対策		周術期等の口腔機能管理		在宅歯科医療の基礎		合 計	
	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数
北海道	7	237	4	249	10	292	2	34	1	64	5	349	29	1225
青森県	3	45	3	46	1	23	0	0	0	0	3	119	10	233
岩手県	0	0	0	0	0	0	1	25	0	0	1	26	2	51
宮城県	1	58	0	0	2	72	0	0	0	0	2	66	5	196
秋田県	0	0	0	0	4	125	0	0	0	0	0	0	4	125
山形県	2	81	0	0	6	145	0	0	0	0	1	26	9	252
福島県	1	35	1	46	3	102	0	0	0	0	0	0	5	183
茨城県	0	0	2	114	5	215	0	0	0	0	2	80	9	409
栃木県	0	0	4	215	4	314	0	0	1	87	3	159	12	775
群馬県	3	107	3	41	13	398	1	34	1	7	2	71	23	658
埼玉県	2	100	3	146	6	246	0	0	0	0	1	49	12	541
千葉県	2	53	1	53	2	95	1	50	1	26	0	0	7	277
東京都	2	36	3	76	12	316	2	18	2	79	7	236	28	761
神奈川県	1	50	2	74	3	94	1	48	1	75	6	219	14	560
山梨県	1	24	0	0	1	9	0	0	1	66	3	102	6	201
長野県	9	299	1	50	2	76	0	0	1	47	5	132	18	604
新潟県	1	19	2	107	5	127	0	0	1	3	2	64	11	320
富山県	1	43	1	37	0	0	1	37	0	0	1	33	4	150
石川県	0	0	1	43	2	71	0	0	0	0	0	0	3	114
福井県	0	0	2	59	1	23	0	0	0	0	0	0	3	82
岐阜県	1	21	4	160	0	0	3	30	0	0	4	173	12	384
静岡県	3	116	3	190	3	154	0	0	0	0	2	100	11	560
愛知県	6	146	6	218	8	216	5	117	2	53	10	322	37	1072
三重県	3	51	4	114	10	204	0	0	1	3	2	49	20	421
滋賀県	2	64	2	115	3	80	1	27	1	37	3	87	12	410
京都府	3	115	2	87	2	88	5	120	0	0	1	32	13	442
大阪府	4	164	6	329	13	542	0	0	1	30	12	530	36	1595
兵庫県	5	179	4	226	22	702	2	47	2	38	7	338	42	1530
奈良県	1	26	3	107	3	56	1	17	1	44	1	25	10	275
和歌山県	3	154	2	76	8	297	0	0	1	62	2	47	16	636
鳥取県	0	0	0	0	2	36	0	0	0	0	1	9	3	45
島根県	1	28	0	0	9	197	0	0	0	0	2	57	12	282
岡山県	1	10	11	129	6	168	1	19	0	0	5	130	24	456
広島県	3	78	1	48	6	155	0	0	1	72	8	81	19	434
山口県	1	16	0	0	0	0	1	25	0	0	5	115	7	156
徳島県	0	0	0	0	2	43	0	0	1	34	0	0	3	77
香川県	2	108	0	0	5	196	0	0	0	0	1	71	8	375
愛媛県	3	84	0	0	9	376	1	5	1	43	0	0	14	508
高知県	4	103	2	17	4	104	1	32	0	0	7	190	18	446
福岡県	2	48	0	0	7	257	1	42	5	218	1	27	16	592
佐賀県	4	133	1	18	1	23	1	30	0	0	2	32	9	236
長崎県	2	48	0	0	4	72	1	9	1	34	2	27	10	190
熊本県	3	221	1	36	4	153	0	0	0	0	2	125	10	535
大分県	1	40	2	69	2	55	0	0	0	0	2	68	7	232
宮崎県	2	102	0	0	6	149	1	15	0	0	5	93	14	359
鹿児島県	7	317	1	62	3	46	0	0	0	0	1	31	12	456
沖縄県	4	114	4	135	2	31	0	0	0	0	0	0	10	280
合 計	107	3,673	92	3,492	226	7,143	34	781	28	1,122	132	4,490	619	20,701

令和4年 第5次生涯研修制度 修了者数

R4.12.31

	(1) 基本研修						(2) 特別研修	(3) 指定研修	合 計
	歯周治療の 基本技術	摂食嚥下 機能療法の 基本技術	リフレッシュ コース	歯科診療所等 における医療 安全管理対策	周術期等の 口腔機能管理	在宅歯科医療 の基礎			
北海道	4	4	3	0	0	1	2	0	14
青森県	0	0	0	0	0	6	1	0	7
岩手県	0	1	1	0	0	1	5	0	8
宮城県	1	2	2	0	0	3	0	0	8
秋田県	1	0	4	0	0	0	0	0	5
山形県	4	0	6	0	0	0	0	0	10
福島県	5	4	4	0	0	0	2	0	15
茨城県	1	1	10	0	0	0	2	0	14
栃木県	2	5	8	2	0	1	2	0	20
群馬県	2	1	7	3	0	0	2	0	15
埼玉県	7	7	8	0	1	1	2	0	26
千葉県	2	0	1	0	0	8	1	0	12
東京都	10	3	18	0	5	13	15	3	67
神奈川県	4	2	4	5	2	9	5	0	31
山梨県	2	0	0	0	0	5	0	0	7
長野県	8	1	4	0	0	3	1	0	17
新潟県	3	0	2	0	0	1	2	0	8
富山県	1	1	0	0	0	0	0	0	2
石川県	0	6	4	3	0	1	2	0	16
福井県	0	1	5	0	0	1	0	0	7
岐阜県	4	7	0	1	0	10	2	0	24
静岡県	1	3	8	0	1	5	6	0	24
愛知県	6	6	3	0	0	5	9	0	29
三重県	1	5	4	0	0	1	3	0	14
滋賀県	1	4	3	0	0	1	5	0	14
京都府	3	2	5	0	0	2	1	0	13
大阪府	3	8	19	3	0	26	9	0	68
兵庫県	14	7	28	0	0	24	3	0	76
奈良県	0	2	0	0	0	0	1	0	3
和歌山県	2	2	5	0	1	4	0	0	14
鳥取県	1	0	2	0	0	0	0	0	3
島根県	1	0	4	0	1	2	1	0	9
岡山県	0	1	4	0	0	8	3	0	16
広島県	5	1	2	0	1	6	3	0	18
山口県	1	0	1	0	0	2	0	0	4
徳島県	2	3	2	0	0	1	3	0	11
香川県	3	0	2	0	0	1	2	0	8
愛媛県	1	1	9	0	1	0	1	0	13
高知県	4	1	4	0	0	14	0	0	23
福岡県	3	2	3	1	11	4	5	0	29
佐賀県	3	2	0	0	0	2	0	0	7
長崎県	0	0	1	0	0	1	2	0	4
熊本県	2	2	4	0	2	8	1	1	20
大分県	0	0	1	0	0	0	1	0	2
宮崎県	5	0	4	0	0	0	3	0	12
鹿児島県	4	10	7	1	0	0	1	2	25
沖縄県	3	0	0	0	0	3	4	0	10
合 計	130	108	216	19	26	184	113	6	802

特別研修指定研修会

- 1 東京医科歯科大学病院 歯科衛生士総合研修センター  
基礎技術修練 歯周治療の診療補助コース  
公開オンライン講座「デジタルデンティストリーにおける歯科衛生士の役割」  
公開シンポジウム  
第2回公開オンライン講座  
「臨床と研究の両面から考える周術期等口腔機能管理における歯科衛生士の役割」
- 2 広島大学歯学部 歯科衛生士教育研修センター  
令和4年度公開シンポジウム～みんなで守ろう！こどもの歯と口腔機能～
- 3 一般社団法人東京医科歯科大学歯科同窓会 C.D.E. (Continuing Dental Education)
- 4 一般社団法人日本顎関節学会 第55回学術講演会
- 5 大阪歯科大学歯科衛生士研修センター 2022年度公開セミナー
- 6 株式会社デンタルダイヤモンド社 DH-KEN・WEB講演会 (LIVE)  
ステップアップ！摂食嚥下リハビリテーション  
もっと知ろう！う蝕と歯周病の予防と管理：OHIの最新情報

令和4年度 認定歯科衛生士登録者名簿

【認定分野A】生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)

会名	氏名	会名	氏名	会名	氏名	
北海道	角田 裕子	静岡県	鈴木 清美	広島県	森田 紀子	
	荒川 久悦		西藤 美穂		仁井谷 善恵	
	佐藤 昌美	愛知県	川田 佐代子	香川県	山本 かおり	
青森県	木村 和子	三重県	高松 いずみ	愛媛県	川上 三紀	
	石塚 育子	滋賀県	土屋 奈美	福岡県	高橋 由希子	
	道尻 紋佳	京都府	相原 直子		荒巻 裕子	
秋田県	小武海 明美	大阪府	山田 恵里		住田 安恵	
山形県	村越 友子		桑村 尚美	佐賀県	陣内 美穂子	
埼玉県	北浦 涼子		福池 久恵		八木 浩子	
千葉県	野村 摩耶		樋口 敦子		小部 素子	大川内 佳奈美
	東京都		須田 正江		山本 雅子	古藤 美貴子
成田 祐貴子			瀬川 梓	長崎県	岩下 ひろ子	
山本 裕子			福岡 智子		三ノ宮 美紀	
神奈川県	福壽 裕紀		兵庫県	森下 佳恵	大分県	新名 美由樹
	金山 みづほ		奈良県	乾 美保		藤田 峰子
新潟県	江邊 真奈美		和歌山県	林 糸津香	沖縄県	安仁屋 みなみ
	宮川 友里恵	玉置 浩美		平田 奈々子		
富山県	藤田 奈央	岡山県	重田 雅奈江			
岐阜県	伊左治 わかな					

【認定分野A】摂食嚥下リハビリテーション

会名	氏名	会名	氏名	会名	氏名
北海道	渡邊 恵里	山梨県	佐藤 美佐子	大阪府	奥田 理芳
	加藤 明美		阿部 裕子		兵庫県
青森県	原田 千明	福井県	舘 陽子	広島県	尾川 直子
	日野口 尚子		川端 登代美	山口県	草野 戸美子
山形県	佐藤 美香	静岡県	渡邊 陽子	高知県	植田 智香
茨城県	中村 郁子		柴山 奈都子	福岡県	川上 恵美
東京都	三浦 綾子	愛知県	金原 理佳		坂梨 裕子
	野島 矩子		向井 紗耶香	大分県	出納 美智代
	田口 知実		浅野 江里子		鹿児島県
	小林 文子		赤平 愛華	沖縄県	伊禮 美由紀
	矢島 秀子	三重県	久保田 加寿美		吉田 綾乃
神奈川県	井上 百世	滋賀県	角田 幸栄子		
	田頭 絹代		谷地 柚香		

【認定分野A】在宅療養指導・口腔機能管理

会名	氏名	会名	氏名	会名	氏名
北海道	太田 繭子	神奈川県	鈴木 祥子	岡山県	永田 晴江
	伊藤 朋江		加藤 理恵子		市川 稔奈子
	江戸 美奈子	長野県	柏原 夏奈	広島県	大下 雅枝
	澁谷 友恵	新潟県	伊藤 和佳子		築尾 慈子
	永橋 茜	富山県	原田 志穂	徳島県	丸崎 愛
	梶田 珠美	岐阜県	廣瀬 絵里佳		篠原 浩子
福島県	八島 真奈美	静岡県	宗田 理華	薦田 茜	
	荒木 友美	愛知県	山田 陽子	香川県	眞鍋 美穂
茨城県	今西 正佐子		都筑 亜矢子	高知県	小松 由樹
群馬県	笠原 好美	大阪府	小南 史	福岡県	秋吉 知美
	赤松 恭子		柳川 朋子		鴨田 由希
	星野 美里	兵庫県	占部 美由	神野 幸恵	
	川田 律子		本房 ゆかり	長崎県	久家 朋子
埼玉県	岩橋 真澄	玉置 綾	熊本県		園田 清子
千葉県	西部 有里沙	奈良県		青木 恭江	
東京都	鳴海 広美		武田 好美		

【認定分野A】糖尿病予防指導

会名	氏名
北海道	大津 久子
	佐々木 朋子
	古川 和代
	足立 早希子
	中山 ひかり
青森県	竹内 祐子
宮城県	中澤正絵
栃木県	兵藤 淳子
東京都	吉田 和恵
	武藤 久子
	江藤 倫子
	加藤 理子
	丸山 千春
工藤 美佑季	
神奈川県	鈴木 恵
	菊池 奈穂子
長野県	米沢 ひとみ
	高山 きよ江

会名	氏名
長野県	矢田 麻衣子
石川県	塚本 暁子
福井県	大門 智子
静岡県	武埴 香菜
愛知県	水野 淳子
	岩倉 由希
	野村 幸乃
三重県	奥田 英未
	前川 和子
	村田 恵
大阪府	上牧 左右子
	山野 視香子
	尾形 祐己
	下井戸 恵
兵庫県	肥塚 美奈子
	堂田 あかり
	登利 早苗
岡山県	藤本 幸恵

会名	氏名
広島県	黒田 景子
	栗原 里美
香川県	管 真奈美
	上村 香南子
	山下 亜矢子
愛媛県	前田 陽子
	篠原 こずえ
福岡県	平川 裕子
	中山 朋美
	吉田 涼子
佐賀県	本田 麻樹
佐賀県	山口 いづみ
熊本県	永江 千晃
大分県	衛藤 恵美
	川村 佳美
鹿児島県	山元 美礼

【認定分野A】医科歯科連携・口腔機能管理

会名	氏名
北海道	北山 まなみ
岩手県	菅原 沙織
宮城県	小松 美保
群馬県	佐田 美子
東京都	細入 枝里
	岩寄 知美
新潟県	伊藤 鮎美

会名	氏名
新潟県	金池 千香子
静岡県	増田 彩乃
愛知県	白川 由佳
滋賀県	奥村 裕子
大阪府	横田 忍
	中西 優実
	倉本 裕子

会名	氏名
和歌山県	津村 瑞希
香川県	久保 直美
愛媛県	三谷 幸子
福岡県	山岸 眞由美
	原田 有泉
	甲斐 彩香

【認定分野A】歯科医療安全管理

会名	氏名
北海道	川平 景子
宮城県	堀込 ゆかり
	小野 ゆかり
	山田 桂子
埼玉県	大堀 千鶴
	佐藤 康子
千葉県	蓮池 祥江
	杉本 明日美
	滝 あかね
神奈川県	矢野 千明
	栗原 行子
神奈川県	北山 仁美

会名	氏名
神奈川県	村上 由岐子
	澤田 しのぶ
新潟県	山城 知子
福井県	高崎 裕美
	笹木 明美
	中林 育実
滋賀県	玉井 文子
大阪府	野田 めぐみ
	道下 千秋
	榊井 悦子
	外山 裕貴
	福永 昌代

会名	氏名
兵庫県	赤崎 直美
	池田 恵理
奈良県	森 加奈
岡山県	小野 加寿未
広島県	石田 眞南
	中岡 美由紀
	山根 次美
徳島県	矢野 加奈子
	橋本 千奈美
愛媛県	宮川 章代
愛媛県	長井 礼子
福岡県	林 光子

【認定分野B】障害者歯科

会名	氏名
茨城県	鈴木 伶菜
東京都	堀越 咲葵
石川県	畑 早苗
	島田 真菜美
静岡県	勝又 たまき
愛知県	飯田 景子
	足立 恭子
	太田 那菜

会名	氏名
愛知県	和田 鮎美
三重県	春日 美智子
滋賀県	上西 加奈子
京都府	永谷 美紗希
大阪府	向山 和美
	吉岡 佳子
兵庫県	高瀬 ひかり

会名	氏名
兵庫県	伊藤 美咲
広島県	大石 瑞希
	保田 紗夜
香川県	楠木 奈央
福岡県	梶原 友里
熊本県	吉良 利沙
鹿児島県	藤崎 郁恵

【認定分野B】老年歯科

会名	氏名
東京都	中田 悠
静岡県	佐藤 美紀
	寺田 泉
	橋詰 桃代

会名	氏名
愛知県	田中 紘子
大阪府	石川 由美
福岡県	川端 千花
沖縄県	赤嶺 あきな

【認定分野B】地域歯科保健

会名	氏名
東京都	伊藤 奏

【認定分野B】口腔保健管理

会名	氏名
徳島県	福島 みどり

【認定分野B】う蝕予防管理

会名	氏名
北海道	塗田 泉
岩手県	金野 柚佳子
埼玉県	古川 敏子
	奥美 恵子
東京都	角田 朋美
	下田 哲子
	松田 梢
	鳴海 広美
	花木 ころこ
	霜鳥 友里江
神奈川県	金子 みのり
	佐々木 小百合
	宮本 詩織
	田中 里果
新潟県	田巻 菜穂子
岐阜県	久世 恵里子
	小島 綾子
	高松 磨由子

会名	氏名
岐阜県	野村 玲奈
	森 真由
	長屋 優里菜
	長屋 梨紗
	市川 清香
	柳沢 梨乃
	梅田 麻衣
	鈴木 夏奈
	田中 由貴
	小森 りさ
愛知県	佐々木 るり香
大阪府	垣東 佑佳
	松本 瑞希
	西山 沙織
	山田 摩有
	栢田 里加
徳島県	渡邊 貴子
兵庫県	一井 瑞希

会名	氏名
兵庫県	北川 瞳
	田中 古都
	森 みのり
岡山県	渡辺 朱理
	藤代 万由
	西山 由夏
	難波 みゆき
	小畑 幸恵
	原田 麻依子
徳島県	小山 明日香
	藤原 奈津美
	瀬山 真莉子
福岡県	田中 弥生
	田原 文香
	鶴田 智香
	塩土 真由
	高橋 綾華

【認定分野C】研修指導者・臨床実地指導者

会名	氏名
福島県	佐久間 真紗美
栃木県	両角 恵美
埼玉県	竹谷 沙織
東京都	鳴海 広美
	川名 美智子
	牧 松美
神奈川県	栗原 行子
岐阜県	山越 陽子
愛知県	金森 いづみ
	原田 未来
	榊原 裕子
	加知 美穂子

会名	氏名
愛知県	渡邊 理沙
三重県	前田 尚子
滋賀県	溝井 敬子
大阪府	村井 亜希子
	古賀 恵
	板並 悠香
	秋山 遥
	吉川 美優
	中村 紀子
	松山 優花
	岩城 一栄
	赤松 明日香

会名	氏名
大阪府	大森 かずみ
	尾形 祐己
兵庫県	高見 美佳
	破魔 幸枝
奈良県	柳川 京子
	谷 裕枝
徳島県	高石 和子
	上田 甲奈
愛媛県	川上 三紀
佐賀県	古藤 美貴子

参考資料 8

令和4年度「地域歯科衛生活動」事業助成 報告

No.	都道府県名	事業名	実施日数	実施人数 参加者数	実施施設 (会場)数 対象施設数	従事者数			その他内訳
						歯科衛生士	歯科医師	その他	
1	北海道 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健推進事業 生涯を通じた口腔健康管理の推進 ならびに歯科衛生士の職業PR事業	3	332	2	30	-	-	
2	岩手県 歯科衛生士会	(7)食育推進事業 子どもの食べる力を育む口腔機能向上普及啓発事業	30	885	2	12	3	1	言語聴覚士
3	山形県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業 自立支援型ケア会議助言の充実に向けた支援事業 ～通所サービスにおける口腔ケア充実推進事業～	21	145	5	16	-	28	管理栄養士、管 理者、介護福祉 士、看護師 当
4	新潟県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業 通所介護事業所での口腔機能向上加算算定導入 支援事業	17	-	16	26	-	-	
5	和歌山県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健推進事業 こども食堂における歯科需要に関する調査	5	20	3	20	-	-	
6	島根県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業 オーラルフレイル予防人材確保事業	9	138	9	24	1	1	医師
7	愛媛県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健事業 歯科口腔保健による地域支援活動事業	5	149	4	11	1	-	
8	佐賀県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健推進事業 がばい！歯っぴー いい歯の日	1	90	1	14	1	-	
9	大分県 歯科衛生士会	(8)多職種連携・協働による歯科口腔保健推進事業 地域包括ケアにおける社会資源としての口腔ケアア プローチ設置事業	77	106	4	78	-	-	
10	特定非営利活動 法人 アダプテッドス ポーツサポート センター	(5)障害(児)者歯科保健事業 (8)多職種連携・協働による歯科口腔保健推進事業 2022年度I(愛)ポッチャ大会 噛む+スポーツで健康長寿を達成しよう	1	164	1	3	5	22	学生ボランティ ア 等
計			169	2029	47	延べ234	延べ11	延べ52	

令和4年度日本歯科衛生士会会長表彰 受賞者

功 勞 賞

\*会員歴30年以上、役員歴が日本歯科衛生士会・都道府県歯科衛生士会を併せて10年以上ある者

市川 智恵 (北海道)	阿保 ひとみ (青森県)	岩本 百合子 (秋田県)
菅家 美和子 (福島県)	菱沼 清美 (茨城県)	宇賀神 富子 (栃木県)
山野井 映子 (群馬県)	砂川 陽子 (群馬県)	丸山 恵子 (埼玉県)
石井 恵理香 (千葉県)	三浦 千賀子 (神奈川県)	中向井 政子 (神奈川県)
宮崎 晶子 (新潟県)	小松 雅子 (長野県)	片口 ひとみ (富山県)
加田 和枝 (富山県)	内野 佐智江 (石川県)	石田 由紀枝 (岐阜県)
水野 彰子 (岐阜県)	澤田 寿恵子 (静岡県)	金森 いづみ (愛知県)
金海 京子 (三重県)	堀内 眞規 (奈良県)	畑下 英子 (奈良県)
松尾 由佳 (奈良県)	岩崎 小百合 (兵庫県)	山本 三千子 (兵庫県)
小室 恵子 (和歌山県)	岩崎 和子 (和歌山県)	竹邊 千恵美 (福岡県)
坂本 由美 (熊本県)	楠元 眞由美 (鹿児島県)	

(32名)

永年精励賞

\*会員歴35年以上であって、年齢65歳以上の者

門脇 ひとみ (北海道)	藤澤 雅子 (北海道)	牧浦 ひろみ (北海道)
菅原 恵美子 (岩手県)	堀越 省子 (宮城県)	星 登喜枝 (宮城県)
佐藤 みどり (山形県)	茂木 悦子 (福島県)	国分 光代 (福島県)
宇田 みどり (福島県)	渡辺 裕子 (福島県)	檜山 典子 (茨城県)
濱名 早苗 (群馬県)	高坂 陽子 (群馬県)	柴田 明美 (埼玉県)
二宮 眞紀子 (埼玉県)	小平 律子 (埼玉県)	吉岡 典子 (埼玉県)
藤代 武子 (千葉県)	島谷 和恵 (東京都)	保坂 治子 (東京都)
塚田 直子 (東京都)	市塚 節子 (東京都)	齋藤 寿枝 (東京都)
小山 圭子 (東京都)	山崎 喜久子 (東京都)	佐藤 郁子 (東京都)
鈴木 淳子 (東京都)	篠崎 明子 (東京都)	大畑 和美 (東京都)
福田 和子 (神奈川県)	遠藤 道代 (神奈川県)	打矢 純子 (神奈川県)
藤井 千春 (神奈川県)	臺 安代 (山梨県)	佐野 久子 (山梨県)
澤田 洋子 (岐阜県)	若園 秀子 (岐阜県)	一ツ松あつ子 (岐阜県)
近藤 悦子 (岐阜県)	河村 佐和子 (岐阜県)	洞 和枝 (岐阜県)
中村 朱見 (愛知県)	澤田 紀子 (愛知県)	上船 須磨子 (滋賀県)
東良 智子 (滋賀県)	三村 宏子 (滋賀県)	白波瀬由香里 (京都府)
若津 友美子 (京都府)	安井 清美 (京都府)	岡本 節子 (京都府)
後藤 路子 (京都府)	福本 はつ (奈良県)	諫川 恵子 (大阪府)
塩沢 佳子 (大阪府)	山本 富代 (兵庫県)	中村 ゆみ子 (兵庫県)
御代出三津子 (兵庫県)	西山 美智子 (兵庫県)	大村 恵美 (兵庫県)
水崎 圭子 (和歌山県)	吉岡 睦奈 (島根県)	堀 けい子 (岡山県)
杉口 寿代 (徳島県)	堤 智子 (高知県)	竹村 利枝 (高知県)
大塚 幸美 (高知県)	大野 由香 (高知県)	前田 由美 (愛媛県)
稲井 由美子 (愛媛県)	堀部 晴美 (福岡県)	稲盛 寿子 (福岡県)
安河内 ひとみ (福岡県)	和気 由美 (鹿児島県)	

(74名)



## 令和5年度予算・制度などに関する要望について

令和5年度予算等に関する要望書をとりまとめ、厚生労働省および関係方面に提出した。

### 令和5年度予算・制度などに関する要望について

我が国における少子高齢社会の急速な進展を踏まえ、地域包括ケアシステムにおける口腔健康管理の推進など、新たなニーズに対応した歯科保健医療提供体制の構築が求められています。さらに、医科歯科連携や介護連携などの進展により、歯科衛生士業務の多様化・高度化が進み、専門性が高まっています。政府の骨太方針に国民皆歯科健診の導入が明記されたことから、国民の健康維持・増進における歯科衛生士の役割と質の高い医療サービス提供が一層重要になると予測されます。また、新型コロナウイルス感染症への対応が始まってから2年半が経過し、感染拡大防止に留意しながら、ほぼ通常の診療が行われるようになりましたが、今後の歯科保健医療提供体制においては、新規の感染症へも対応できる継続的な感染防止対策が必要です。

このような状況にあって、多様かつ高度な役割に対応できる人材の育成や人材の確保が追いついていない現状があります。今後の歯科保健医療提供体制において求められる業務の在り方を見据えた歯科衛生士の配置をはじめ、卒前卒後のシームレスな人材育成、ならびに歯科衛生士の活用基盤の強化などを含む質の高い人材確保対策のさらなる推進が急務となっています。

これらのことから、令和5年度予算・制度などに関しまして、以下の6項目の要望について格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

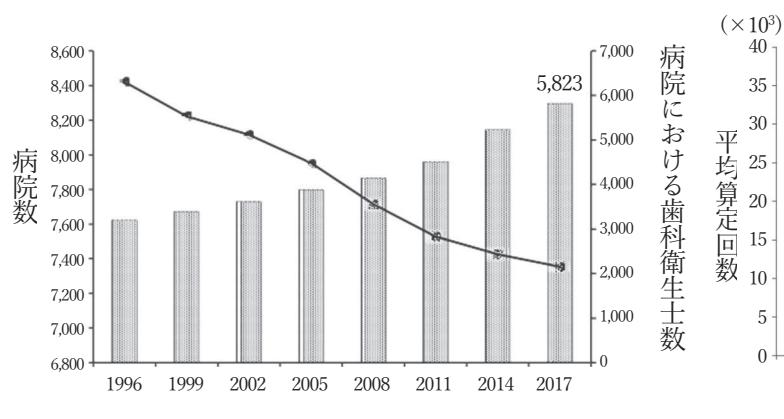
#### 要望事項

1. 医科歯科連携における口腔健康管理の推進に関する事
2. 行政に関わる歯科衛生士の配置促進に関する事
3. 卒前卒後のシームレスな人材育成のための教育研修体制の構築に関する事
4. 臨床実践力の強化を目指した臨地実習(臨床実習を含む)の指導体制に関する事
5. 復職支援・離職防止等推進事業の継続と拡充に関する事
6. 処遇改善に関する事

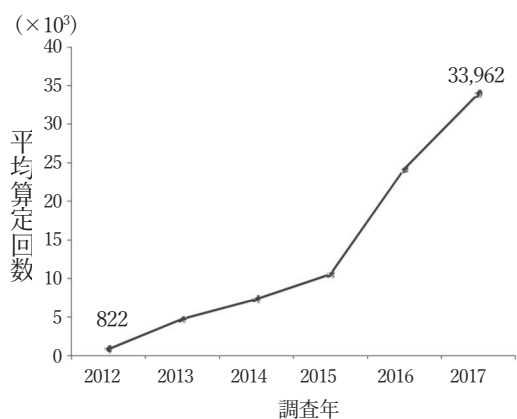
## 1. 医科歯科連携における口腔健康管理の推進に関すること

### (1) 回復期病院における「口腔健康管理」提供体制の整備

周術期等口腔機能管理の保険収載により、周術期の口腔機能管理の重要性が周知され、急性期病院における歯科衛生士の役割が急速に広がりつつあります(図参照)。その一方で、回復期病院における口腔健康管理の位置づけは確立されておらず、歯科専門職が配置されている病院はごくわずかという状況です。回復期には、自宅や社会に復帰することを目的に日常生活動作を改善させるリハビリテーションを行います。多くの患者において口腔の要因(義歯不適合・口腔乾燥・歯の欠損・口腔衛生不良)による栄養状態の不良が認められます。これらの口腔症状を早期に発見し口腔機能を回復することは、栄養状態を改善し(Community Dent Oral Epidemiol. 2013;41(2):173-181)、リハビリテーションによる日常生活動作の回復や自宅への退院を促進する(Geriatr Gerontol Int. 2019;19:189-196)ことに役立ちます。しかし、回復期病院における口腔健康管理の位置づけがないために、口腔の問題が見過され、栄養状態、全身状態が改善せず、自宅に戻れないという問題が生じています。このような状態を改善するため、回復期病院における口腔健康管理の提供体制を整備すると共に、歯科衛生士の役割を明記されるよう要望します。



図：一般病院に勤務する歯科衛生士数  
(病院数減少に対し歯科衛生士数は増加)



図：歯科衛生士による周術期専門的口腔衛生処置の算定回数(月平均)

[村井ほか, 歯科医学 2020; 83: 68-75 より引用改変]

## 2. 行政に関わる歯科衛生士の配置促進に関すること

2011年に制定された歯科口腔保健の推進に関する法律が目標とする全世代を対象とした歯科口腔保健の推進にあたっては、保健、医療、教育、労働衛生、社会福祉等の関連施策と有機的な連携を図り、総合的に展開することが求められています。また、住民への歯科口腔保健サービスの提供に際しては、市区町村が重要な役割を担っており、現在「口腔保健支援センター設置推進事業」による口腔保健支援センターの設置促進および歯科専門職の適切な配置への補助事業が展開されています。今後さらに、歯科口腔保健事業を効果的に推進する上で、これらの行政における歯科衛生士の役割が重要であり、配置促進が求められます。

## (1) 厚生労働省医政局歯科保健課への歯科衛生士の配置

歯科衛生士の就業者数は令和2年12月末現在、142,760人(衛生行政報告例)となっており、毎年7千人前後の新人歯科衛生士が誕生し、増加傾向が続いております。また、平成16年に4年制大学における歯科衛生士教育が開始されて以来、大学数は大きく増加し、令和4年3月現在大卒者は延べ2,848名に上っており、さらに修士や博士などの学位を持った高学歴の歯科衛生士が輩出されてきています。今後、国民の生涯を通じた歯科口腔保健を推進する上で、保健、医療、福祉等の多職種と連携・協働した歯科衛生士の役割がより一層重要となるため、厚生労働技官として、歯科衛生士職員の配置を要望します。

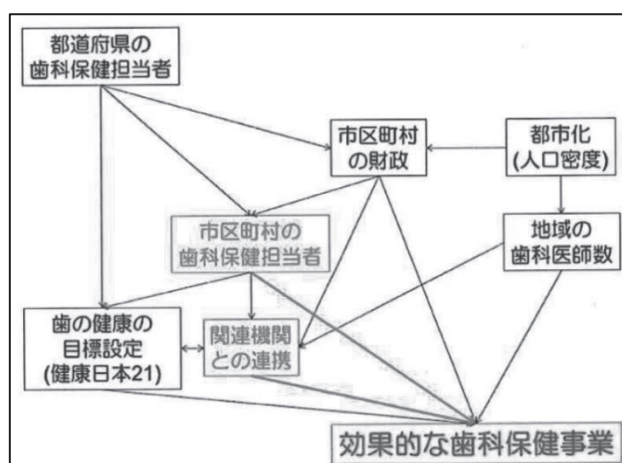
なお、その人材については、下記の要件を満たすことを想定しています。

- ① 歯科衛生士免許を取得している者
- ② 歯科衛生士養成施設である大学を卒業している者
- ③ 口腔衛生関連の修士以上の学位を有する者
- ④ 口腔衛生にかかる行政の業務に理解を示し、意欲のある者

## (2) 行政への歯科衛生士の配置促進

歯科衛生士が行う歯科保健指導においては、エビデンスに基づいた口腔健康の重要性に関する情報提供やオーラルフレイル対策、全身疾患の重症化予防に向けた歯科口腔保健の向上が不可欠となっています。これらの歯科口腔保健事業の展開は、歯科診療所をはじめ、全国のあらゆる地域で行われる必要があります。歯科口腔保健と保健・医療・福祉等の地域連携を円滑に展開していくためには、行政の歯科衛生士の役割が重要です。山本らによると常勤歯科衛生士が配置されている市区町村は配置されていないところに比べ、効果的な事業が1.3倍多く、関連機関との連携が7.3倍であることが報告されています。しかし、行政に携わる常勤歯科衛生士は、市町村保健センター数2,432[令和4年4月現在 000762007.pdf (mhlw.go.jp)]と保健所数591[令和4年4月現在 000765311.pdf (mhlw.go.jp)]を合わせて全国3,023施設に対して708人、割合は23%です。政令市・特別区以外の市町村では、その歯科衛生士数は307人、割合は13%です[令和2年度地域保健・健康増進事業報告の概況 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)]。このことから、市町村保健センター、保健所における歯科衛生士は、十分な数が配置されているとはいえません。

また、口腔の健康の地域格差を縮小するためにも、住民への歯科保健事業の企画・提供者である行政の役割が重要です。これらのこと



図：効果的な歯科保健事業と市区町村および都道府県の要因との関係の仮説と結果  
(山本龍生ら, 2015)

から、現在展開されている都道府県、保健所設置市、特別区への口腔保健支援センター設置の更なる推進と行政への歯科衛生士の配置促進を要望します。

### 3. 卒前卒後のシームレスな人材育成のための教育研修体制の構築に関すること

将来にわたる歯科医療提供体制において、質の高い歯科保健医療サービスを安定的に確保するためには、歯科衛生士教育と卒後研修との有機的な連携を図り、シームレスな人材育成のための教育研修体制を実現することが重要です。

#### (1) 歯科衛生士養成所指導ガイドライン改訂に関する検討委員会の設置

少子高齢化の進展に伴い、歯科衛生士業務は高度化かつ多様化しており、歯科医療提供体制を踏まえた教育内容の見直しが急務となっています。しかしながら、歯科衛生士養成所指導ガイドラインは平成16年以降改訂されていないため、その再検討が求められています。歯科衛生士の卒前教育には3年制の専門学校、短期大学、他の国家資格と同時に教育される4年制大学、歯科衛生学単科の4年制大学など、様々な教育体制がとられていますが、ベースとなる教育の指導ガイドラインの標準化のために、厚生労働省において歯科衛生士養成所指導ガイドライン改訂のための検討委員会を設置することを要望します。

また、現在、4年制大学教育のためのモデルコアカリキュラム、コアコンピテンシー(卒業時の実践能力)が検討されていますが、これらの検討されているカリキュラムと養成所指導ガイドラインとの整合性、一貫性を図るために、相互に連携した検討がなされることを要望します。

#### (2) 臨床実習開始前に習得すべき能力の共通目標の設定と到達度判定システムの導入

歯科医師においては、資格のない学生が患者に接して医行為を行いうる不可欠な要件として事前に学生の能力と適正を評価し、質を保証するための共用試験(CBT、OSCE)が実施されています。しかし、同様に臨地実習で相対的医行為を行う歯科衛生学生に対してはこうした仕組みがありません。卒後研修システムが十分に確立していない歯科衛生士においては、臨床実践能力を高める上で、とりわけ卒前の臨床実習を充実させることが求められます。臨床実習を充実させるためには、臨床実習開始前に習得すべき知識・技能・態度について一定の目標を定め、目標に対する到達度を判定するシステムづくりが必要です。一定の水准确保により、臨地実習(臨床実習含む)を充実させることは、新卒者の自信喪失による離職の防止にもつながると考えられます。歯科衛生士養成所指導ガイドラインの検討と連携した臨地実習に関する検討委員会の設置を要望します。

### 4. 臨床実践力の強化を目指した臨地実習(臨床実習を含む)の指導体制に関すること

臨地実習(臨床実習含む)は、歯科医療者が行う歯科診療の実践の中に学生が入り、歯科衛生士の立場で現場を体験します。この学習プロセスでは、学内で学んだ知識・技術・態度の統合を図りつつ、歯科衛生士としてのスキルを修得します。また、実践で求められる援助者としての人間関係形成能力や

門職種としての役割、責務を果たす能力は、実際に患者と対峙し、自らが歯科衛生士の立場で行動するプロセスで育まれます。卒業するとすぐに実践の場に身をおく学生にとって、このような臨床実践力を培い強化するための臨地実習は極めて重要ですが、学習者への指導法や教育について学んだうえで実習指導に当たっている臨地実習指導者は少ない状況であり、臨地実習指導者養成を含む臨地実習指導体制の構築は喫緊の課題となっています。

### (1) 技術修練設備の臨地実習指導者養成への活用

歯科衛生士の業務に必要な身体侵襲を伴う技術の修練には、対象者への十分な配慮を必要とするため、習熟した歯科衛生士の指導が不可欠です。臨地実習では、資格取得前であっても可能な限り実地で十分な体験ができるよう環境を整えることが必要であり、一つ一つの技術に関しても、学生の準備状況を確認したうえで個別指導を行うことが重要で、この判断には習熟した技術を要します。したがって、臨地実習指導者は、自己のスキルレベルを客観的に評価した上で、臨床現場において学生の手本となって教えるための知識・技能を学び、学生への実習指導能力を高めることが必須です。そのため、臨地実習指導者養成のための場を広く確保することが求められます。当面、臨地実習指導者の指導力を高める場として、歯科衛生士の新人・復職支援のために厚生労働省補助事業により設置された東京医科歯科大学、広島大学、大阪歯科大学、愛知学院大学などの技術修練の設備を活用できるよう整備することを要望します。



図：厚生労働省補助事業による歯科衛生士技術修練設備  
(令和4年7月現在)

## 5. 復職支援・離職防止等推進事業の継続と拡充に関すること

歯科衛生士の人材確保には、育児・介護等によって離職していた歯科衛生士の復職支援および新人歯科衛生士に対する基本的な臨床実践能力の獲得と早期の離職防止を推進することが不可欠です。ま

た、新型コロナウイルス感染症拡大により学びへの影響を受けた新人歯科衛生士に対する卒後フォローアップ研修が必要です。

### **(1) 「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」の継続・拡充**

地域で中核を担う研修指導者や臨床実地指導者等の人材の育成を図るため、令和5年度においても厚生労働省「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の継続が必要です。特に卒業したばかりの新人歯科衛生士は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で養成機関において臨床実習をほとんど体験できておらず、スキルに不安をもつ者が非常に多いため、研修指導者のスキル向上が一層求められています。このことから、研修指導者を養成するための研修事業の継続・拡充を要望します。

### **(2) 「歯科衛生士の技術修練設備等の整備と運営事業」の継続・拡大**

「歯科衛生士の技術修練設備等の整備と運営事業」では、現在 4 か所の大学病院で技術修練が行われていますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で臨床実習の体験不足である新人が多く、技術修練へのニーズが一層高まっていることから、本補助事業の継続を強く希望します。また、現状では修練の場が 4 拠点のみで全国展開とはなっていないため、技術修練の研修を望んでも通うことが難しい者が多くいる状況です。そのため、全国の歯学部を有する大学と連携して技術修練の場を拡大し、研修機会の提供を促進するよう要望します。

### **(3) 人材登録・就業相談窓口等総合的な復職支援体制の整備**

復職支援対策には、人材登録・就業相談等の体制整備が重要です。免許保持者の潜在化を防止する対策および求人・求職情報等に関する情報の集約・管理システムの整備が必要です。あわせて、労務管理やマネジメントの知識を有し、就業条件について相談できる相談員の配置が必要であり、これらを一元化した総合的な復職支援体制の整備を要望します。

## **6. 処遇改善に関すること**

令和2年度歯科衛生士養成校の卒業生に対する求人倍率は19.4倍で、平成28年度以降高い水準が続いており（歯科衛生士教育に関する現状調査の結果報告, 全国歯科衛生士教育協議会, 令和3年6月）、恒常的な歯科衛生士の供給不足が示されています。この要因として離職率の高さと潜在歯科衛生士の多さが挙げられます。歯科衛生士養成校卒業生を対象とした調査でも、就業率68.3%、転職経験者は70.2%であり、早期離職が顕在化していることが報告されています（歯科衛生士及び歯科技工士の就業状況等に基づく安定供給方策に関する研究, 地域医療基盤開発推進研究事業, 平成31年）。離職の原因として、給与面の待遇とする歯科衛生士が58.4%を占めており（口腔衛生会誌 2021;71:72-80）、安定的人材確保には待遇改善が不可欠です。

### (1) 人事院規則九一八に定める歯科衛生士初任給基準の改定

近年、歯科衛生士業務の多様化・高度化に伴って、歯科衛生士養成教育は高度化しており、現在では4年制大学が13校に達し、今後さらに増える見込みとなっております。年々大卒者が増加し、総合病院や行政など活躍の場が広がり、多職種との連携が進んでいるにもかかわらず、人事院規則九一八に定める歯科衛生士初任給基準は、上限が短大3年卒の設定のままとなっております。医療職俸給表（二）が適用される、栄養士、臨床検査技師、理学療法士など、他の医療職では大学卒の初任給が設定されているのに比し、歯科衛生士は立ち遅れた状況にあります（表参照）。国家公務員の歯科衛生士初任給の設定は、広く他の職域における基準になるものであり、歯科衛生士の処遇改善につながると考えます。そのため、人事院規則九一八に定める医療職俸給表（二）初任給基準表の歯科衛生士の基準に大学卒を加えていただくことを要望します。

医療職俸給表（二）初任給基準表

職種	学歴免許等	初任給
薬剤師	大学6卒	2級15号俸
	大学卒	2級1号俸
栄養士 衛生検査技師	大学卒	2級1号俸
	短大卒	1級11号俸
診療放射線技師 臨床検査技師 臨床工学技士 理学療法士 作業療法士 視能訓練士 言語聴覚士	大学卒	2級1号俸
	短大3卒	1級17号俸
歯科衛生士	短大3卒	1級17号俸
	短大2卒	1級11号俸
	高校専攻科卒	1級7号俸
歯科技工士	短大3卒	1級17号俸
	短大2卒	1級11号俸

## 要望事項

1. 医科歯科連携における口腔健康管理の推進に関すること
  - (1) 回復期病院における「口腔健康管理」提供体制の整備
2. 行政に関わる歯科衛生士の配置促進に関すること
  - (1) 厚生労働省医政局歯科保健課への歯科衛生士の配置
  - (2) 行政への歯科衛生士の配置促進
3. 卒前卒後のシームレスな人材育成のための教育研修体制の構築に関すること
  - (1) 歯科衛生士養成所指導ガイドライン改訂に関する検討委員会の設置
  - (2) 臨床実習開始前に習得すべき能力の共通目標の設定と到達度判定システムの導入
4. 臨床実践力の強化を目指した臨地実習(臨床実習を含む)の指導体制に関すること
  - (1) 技術修練設備の臨地実習指導者養成への活用
5. 復職支援・離職防止等推進事業の継続と拡充に関すること
  - (1) 「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」の継続・拡充
  - (2) 「歯科衛生士の技術修練設備等の整備と運営事業」の継続・拡大
  - (3) 人材登録・就業相談窓口等総合的な復職支援体制の整備
6. 処遇改善に関すること
  - (1) 人事院規則九一八に定める歯科衛生士初任給基準の改定



## 加入団体及び後援協力事業

### 加入団体

公益財団法人 8020 推進財団  
一般社団法人日本口腔衛生学会  
日本公衆衛生学会  
日本歯科医療管理学会  
歯科保健医療国際協力協議会 (JAICOH)  
子どもの歯を守る会  
NPO 法人日本むし歯予防フッ素推進会議  
一般社団法人日本歯学系学会協議会  
公益財団法人国際医療技術財団

### 後援、協力事業

21 世紀における国民健康づくり運動  
歯と口の健康週間  
令和 4 年度「医療安全推進週間」  
第 80 回全国小学生歯みがき大会  
令和 4 年度「健やか親子 21-8020 の里賞」（ロッセ賞）  
第 86 回全国学校歯科保健研究大会  
公益社団法人日本歯科医師会 厚生労働省医療関係者研修費等補助金  
災害医療チーム等養成支援事業「令和 4 年度災害歯科保健医療チーム養成支援事業」  
世界口腔保健学術大会記念「第 27 回口腔保健シンポジウム」  
公益財団法人 8020 推進財団学術集会「第 20 回フォーラム 8020」  
ライオン歯科衛生研究所 予防歯科セミナー  
その他の後援  
公益法人 5 件 一般法人 7 件 大学 3 件 その他 14 件